

SHOWA MEDICAL UNIVERSITY NEWS

JUNE
2025

6

昭和医科大学新聞 通巻 第625号
(偶数月発行)

令和7年度 昭和医科大学入学式・入寮式

学生からの寄稿「共に歩んだ仲間と充実した日々」



新学長からのメッセージ

創立100周年を 見据えた 改革期に向けて

このたび、昭和医科大学第15代学長に就任いたしました。前学長の志を受け継ぎ、未来の医療を担う人材の育成を使命とし、「日本一のカリキュラム」の実現を目指した教育改革を、引き続き推進してまいります。

本学は、2025年4月1日に校名を「昭和医科大学」へと変更し、医系総合大学であることをより明確に打ち出しました。2027年4月1日には、神奈川県川崎市鷺沼に新キャンパスの開設を予定しており、最新設備を備えた学習環境の提供、医療教育の更なる充実を図ります。保健医療学部には新学科を設置し、より専門性の高い教育を推進します。そして、2028年11月15日に創立100周年を迎えます。これらの大きな節目を控えた時期に学長に就任したことを光栄に思うと同時に、重責を果たす決意を新たにしております。

今後とも、みなさまの変わらぬご支援・ご指導を心よりお願い申し上げます。

第15代学長
上條 由美



Contents

6 JUNE
2025

2 **Special Feature**
新学長からのメッセージ

3 令和7年度
昭和医科大学入学式・入寮式
学長告辞

6 SMILE JAPAN (アイスホッケー女子日本代表)
校名変更に伴う広告掲出

8 **Press Release**
機械的刺激が目の炎症を引き起こす仕組みを解明
角膜疾患やドライアイなどの
新たな治療法開発へつなぐ
天然の抗酸化物質カテキンから新たな化合物を開発
酸化ダメージを持続的に抑制する薬剤となる可能性
超硫黄分子の新知見！超硫黄分子が拓く
骨再生・変形性関節症の新たな治療戦略

11 **News & Topics**
入職式・入学式・卒業式・修了式・各賞受賞者
石銘版除幕式 スプリングオープンキャンパス
人体を透過して光る手術用ガーゼを開発 ほか

22 **Student Life**
学生寄稿
「共に歩んだ仲間と充実した日々」

24 **Meeting Report (学内会議報告)**

30 **Information**

綴込 **Database**
入試の結果と総評
卒業生・修了生・国家試験合格者・新入生



「優れた医療人」への 一步を踏み出した 614名

令和7年度
入学式・入寮式

入学式

4月9日、明治神宮会館にて令和7年度昭和医科大学入学式を挙行了た。

医学部131名、歯学部107名(うち編入生7名)、薬学部209名、保健医療学部167名(看護学科111名(うち編入生5名))・リハビリテーション学科理学療法専攻44名・リハビリテーション学科作業療法専攻12名)の合計614名が医療人としての第一歩を踏み出した。

昭和医科大学管弦楽団による演奏で開式し、久光正学長の告辞(別掲)に続き、小口勝司理事長は祝辞で「本学は1928年の創設以来、『社会に貢献する優れた医療人の育成』を理念に、医系総合大学として発展してきました。全寮制や少人数制実習、チーム医療教育など、充実した制度で皆さんの成長を支援します。これらを活用し、医療人としての基礎を築き、社会に貢献できる人材へと成長されることを心より願っております」と述べた。

続いて、昭和医科大学宣言を新入生代表の青木萌音さん(医学部医学科)の発声に合わせて、新入生および昭和医科大学関係者一同で唱和し、グリークラブ・OBOG有志一同で校歌を斉唱した。



その後、新入生歓迎プログラムでは、在学生代表の2名が今後の寮生活やクラブ活動などについてユーモアを交えて歓迎の辞を語り、Medical All Stars Jazz Orchestraの歓迎の演奏、応援指導部の新入生へのエールで和やかな雰囲気となった。



そして、今年度は特別講演として学校法人昭和医科大学の内田樹理事による「医療人として生きる」をテーマに講演が行われた。

入学式閉式後には、4月から始まるドラマ『天久鷹央の推理カルテ』（テレビ朝日系／毎週火曜21時）で医師役に挑戦する主演の橋本環奈さんがサプライズ登場し、医学の道を志す新入生たちを祝福した。

その後、新入生はバスに乗車して一路富士吉田キャンパスへ向かった。



入寮式

4月10日、富士吉田スクエアガーデンにて、令和7年度昭和医科大学入寮式を挙行了した。

久光正学長、小川良雄富士吉田教育部長、小倉浩教育委員長、山本雅人学生部長の挨拶の後、教育職員および寮監の紹介が行われた。

小倉教育委員長は挨拶で、「受験勉強で培った効率的な学習法は、大学では通用しないこともあります。これからは、自分の頭で考え、理解することが何より大切です。全寮制の環境を活かし、仲間と教え合い、先生に積極的に質問しながら、学びを深めてください。皆さんの寮生活が実り多いものとなることを願っています」と述べ、新入生にエールを送った。

続いて、学生の代表となる学生会中央委員メンバーの紹介があり、全員で昭和医科大学宣言を唱和し、閉式となった。

午後は、Identity教育として、小口勝司理事長が講演を行い、学部別Identity教育では、各学部長から今後の学修について講話があった。

新入生は、これから始まる学生生活への期待や希望に胸を膨らませ、富士吉田キャンパスでの寮生活をスタートした。

学長告辞

昭和医科大学 学長

久光 正

昭和医科大学に入学された皆さん、また、ご家族の皆さん、ご入学おめでとうございます。私は昭和医科大学学長を拝命しております久光正です。皆さんに学長としてお祝いの気持ちと充実した学生生活を送るための考え方についてお伝えしたいと思います。

本学の建学の精神は「至誠一貫」であります。社会に貢献する優れた医療人を育成する。この精神を建学以来持ち続け、多くの医療人を社会に輩出してきました。この度、入学された皆さんもまた、医学、歯学、薬学、保健医療学を修め、優れた医療人になるべく学修を積み重ねることになります。

では優れた医療人とはどのような人をいうのでしょうか？

私は、深い知識、優れた技術、適切な態度（心構え）を備え、かつ、医学医療の進歩を捉え続ける意気込みと実行力を持つ人であると考えます。

人体の構造と機能、疾病や損傷、またその治療法などを知っている。これは知識です。検査や治療手技を正確・迅速かつ効果的に行うことができる。これは技術です。患者さんは物ではなく、心をもった人です。赤ちゃんから老人まで、対象年齢は広く、家庭環境もさまざまです。これら多様な患者さんの気持ち・考えを正しくくみ取り、適切な言葉や立ち居振る舞いで、まごころをもって接する。これは態度（心構え）にあたります。

今日から毎日少しずつ、優れた医療人になるために、「頭を鍛え」「技を磨き」「心を養う」のです。毎日の学修により皆さんは日々、変化していきます。昨日の自分と今日の自分は異なります。また、明日の自分は今日の自分より学修者として、また人間として大きくなっています。4年後、6年後には今の自分とは比べられないほどの変化・成長をします。ただしこの変化には本人が成長しようという意気込みと実行力が必須であります。別の言い方をすれば、やる気がなければ何も変わらない。やる気があれば変われるということでもあります。しかし変わってはいけないことがあります。医療に従事する者として生涯にわたって変わってはいけない心、それが「医の心」です。ウィリアム・オスラー博士は「医の心」を3つに解きほぐして教えてくれました。その第1は、患者さんの悩み、苦しみ、痛みに共感する心、「sympathy」です。第2は患者さんになぐさめの手、いたわりの手を自然に差しのべることができる心、「compassion」です。そして第3は、患者さんのためにつくす心、「service」です。sympathy、compassion、service、この3つをあわせ備えたのが「医の心」です。皆さんには入学式の今日、あらためて将来の自分の目標、どのような医療人になろうとしているのかを確認していただきたいと思います。その目標にはきっと今、お話した「医の心」を

備えた医療人になるという目標が含まれると信じています。

昭和医科大学は昭和3年に学祖、上條秀介博士により設立された昭和医学専門学校を基盤として発展してきました。昭和6年には附属産婆看護婦講習所を設置し、看護師教育が開始されました。昭和27年には6年制の昭和医科大学となりました。昭和39年、薬学部創設に伴い、昭和大学に名称を変更しました。昭和40年には山梨県富士吉田市に富士吉田校舎を開校し、全寮制教育が開始されました。昭和52年には歯学部が創設され、北千束の地に附属歯科病院を開院しました。平成9年に保健医療学部の前身である昭和大学医療短期大学が開校し、平成14年に保健医療学部が開設されました。これら学部の増設と共に附属病院、研究所などの医療施設が次々に開設・設置され現在の4学部、4研究科、8病院、11研究所、3研究センターに発展しました。それぞれの学部や施設では優れた医療人を育成し、社会に送り出すため熱意のこもった教育が展開されています。そして各部署を貫く共通の想いが「至誠一貫」という精神です。本学はこの精神を体現できる医療人を育成するということを使命とする医療系総合大学であります。本年4月1日には本学が常に医療系人材を育成する大学であることを広く社会に認知されるよう法人名、大学名を昭和医科大学に改称いたしました。昭和3年からの約100年間に医学医療はめざましい発展を遂げ、本学はこの変化に遅れることなく、常に前進してきました。そして建学の精神である「至誠一貫」の想いが揺るぐことはありませんでした。

改めて新入生の皆さんに伝えます。昭和医科大学のこれからを作るのは皆さんです。社会の変化、医学医療の進歩に遅れることなく自らを変化させ、さらに医学・医療をリードする先駆的力量を発揮する力強さを持ち続けてください。一方でsympathy、compassion、serviceを合わせ備えた「医の心」、「至誠一貫の精神」を心の支柱にしてください。私は皆さんのご活躍を心から期待し、応援いたします。これからの昭和医科大学を作る新入生の皆さんに次の言葉を贈り、学長告辞いたします。

「変わる強さ、変わらぬ想い」

皆さん、ご入学おめでとうございます。

令和7年4月9日
昭和医科大学 学長 久光 正



SMILE JAPAN アイスホッケー 女子日本代表 が 決戦の地・苫小牧で大きな“スマイル”を獲得!!



飯塚祐司監督コメント (人事部)

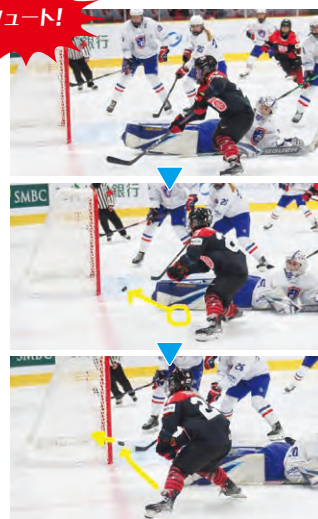
アイスホッケー女子日本代表は、2025年2月に北海道苫小牧市で開催された2026ミラノ・コルティナ冬季五輪最終予選を全勝し、本大会の出場権を獲得することができました。2022北京冬季五輪では予選を勝ち抜き初の決勝トーナメントに出場することができましたが、決勝トーナメント初戦で敗れベスト8止まりでした。2026ミラノ・コルティナ冬季五輪では、2022北京冬季五輪以上の成績をチームの目標とし、7月より国内合宿と海外遠征を行い五輪本番へ向けて準備を進めていく予定です。アイスホッケー女子日本代表への皆様方のご声援をどうぞ宜しくお願い申し上げます。



小山玲弥選手コメント (総務部)

2025年2月に行われた最終予選にて全勝し、ミラノ・コルティナオリンピックへの切符を無事掴むことができました。皆様の日頃からご支援、ご声援をしてくださる力が大きく影響したと思います。オリンピックという大舞台へ挑戦できることを誇りに思います。人生の中で何度も経験できるのではないので、今よりもさらに練習に励み成長し続けることで後悔や悔いが残らないように日々鍛錬していきたいです。また皆様が応援したくなる選手になれるよう頑張りたいと思います。引き続き皆様の応援とご支援の程よろしくお願い致します。

シュート!



小山選手のシュートシーン

2月6日、女子アイスホッケー最終予選グループGの初戦でフランス(世界13位)と対戦2ndペリオド3分、こぼれたミドルシュートをゴールのほぼ真横の厳しい位置から……



小山選手のゴールで4-0とリード! その後も得点を重ね、初戦を大量リード7-1で快勝!

特報 校名変更 に際して 広告を掲出しています!



- 1 旗の台キャンパス/昭和医科大学病院・昭和医科大学病院附属東病院/昭和医科大学附属看護専門学校
- 2 洗足キャンパス/歯科病院
- 3 横浜キャンパス/長津田総合運動場
- 4 富士吉田キャンパス
- 5 鷺沼キャンパス (2027年4月開設予定)
- 6 藤が丘病院・藤が丘リハビリテーション病院
- 7 横浜市北部病院
- 8 江東豊洲病院・豊洲クリニック
- 9 烏山病院

A 駅看板・副駅名標・車内放送 東急池上線旗の台駅



B 駅看板・副駅名標・車内放送 東急大井町線旗の台駅



C 駅サイネージ 東急線自由が丘駅



C 駅サイネージ 東急線二子玉川駅



D 駅サイネージ 東急目黒線目黒駅



E 駅サイネージ みなとみらい線みなとみらい駅



F 駅看板 東急田園都市線鷺沼駅 (中央改札)



G 駅看板 東急田園都市線鷺沼駅 (北改札)



G 副駅名標・車内放送 東急田園都市線藤が丘駅



H 駅看板 東急田園都市線長津田駅



I 駅看板 JR横浜線十日市場駅



J 空港看板 羽田空港第2ターミナル



K 球場看板 横浜スタジアム



L 球場看板 東京ドーム (ライトボール上段壁面)



L 球場看板 東京ドーム (ライト外野観覧席)





Press Release

昭和医科大学では最新の研究結果を外部（マスメディア）に発信しています。
ここでは、プレスリリースとして発信した記事を紹介します。

※掲載内容はリリース時の内容となります。

機械的刺激が目の炎症を引き起こす仕組みを解明 角膜疾患やドライアイなどの新たな治療法開発へつなぐ



昭和大学(東京都品川区／学長：久光正)の安達直樹准教授（医学部生理学講座生体制御学部門／教授：砂川正隆）と福岡聖也医師（眼科学講座／教授：恩田秀寿）らの研究グループは、眼の結膜上皮細胞が、「Piezo 1」というメカノセンサーを通じて機械的刺激を感知し、炎症性物質を生成する仕組みを世界で初めて明らかにした。この発見は、目をこする行為が単なる物理的刺激ではなく、急性炎症を引き起こすリスクがあることを科学的に示した。また、この研究成果は、角膜疾患やドライアイなどの炎症性疾患に対する新たな治療法の開発にもつながる可能性を秘めている。

■研究の背景・目的

目がかゆいときや疲れたときに目をこする行為は、日常的な動作だが、私たちは子どもの頃から「目をこすってはいけない」と言われてきた。その理由としては、指からの細菌やウイルスによる感染リスクや、角膜に物理的な損傷を与える可能性がよく知られている。

一方で、過度に目をこすることは、角膜の薄化や円錐角膜などの疾患と関連するほか、目の炎症を引き起こすリスクがあることが報告されている。

しかし、機械的な刺激そのものが目の炎症を直接引き起こす可能性や、その具体的な仕組みについては、これまで明らかにされていなかった。

本研究では、眼の結膜上皮細胞に存在する「Piezo 1」という機械感受性イオンチャネルが、機械的刺激を受けて炎症性サイトカインを生成する仕組みを解明することを目指した。

■研究成果の概要

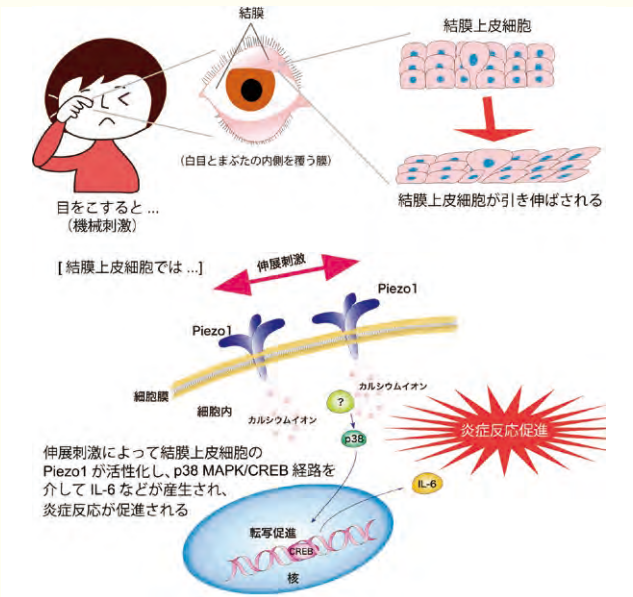
研究チームは、ヒトの結膜上皮細胞とラットを用いた実験で、以下の点を明らかにした。

○Piezo 1 が炎症の引き金に

Piezo 1 が機械的刺激を感知すると、細胞内のカルシウム濃度が上昇し、その結果、炎症性サイトカイン「IL-6」や「IL-8」が生成されることを発見した。

○p38 MAPK-CREB経路の役割

Piezo 1 が活性化されると、細胞内でp38 MAPK（タンパク質キナーゼ）とCREB（転写因子）が連鎖的に活性化され、IL-6の生成が促進されることが確認された。



結膜への機械刺激によって炎症性サイトカインが産生される仕組み

○機械的刺激の模倣実験

結膜上皮細胞を物理的に引き伸ばす実験を行ったところ、Piezo 1 による炎症性反応が誘導されることが再現された。

○ラットの結膜での確認

ラットの眼にPiezo 1 の活性化剤を投与した結果、炎症性サイトカインの増加と好中球の浸潤が観察された。

本研究によって、目の結膜上皮細胞に機械刺激を加えることで、Piezo 1 の活性化を介して炎症性サイトカインIL-6の産生が顕著に増加し、急性炎症の主役である好中球が組織内に浸潤することが明らかになった。この結果は、目をこする行為が単なる物理的刺激ではなく、急性炎症反応を引き起こす可能性を科学的に裏付けるものである。

■研究成果の意義

本研究によって、目をこする行為やコンタクトレンズの装着といった機械的刺激が、結膜上皮細胞を通じて急性の炎症を引き起こしうることと、その仕組みが科学的に明らかになった。この発見は、以下のような幅広い意義を持っている。

○眼の炎症性疾患の予防と治療

角膜疾患やドライアイなどの治療法開発につながる可能性がある。

○目の健康を守る啓発活動の強化

「目をこすらないように」といったアドバイスが、単なる衛生的な観点だけでなく、科学的根拠に基づいて重要であることを示している。

○新たな創薬のターゲットとしてのPiezo 1

Piezo 1 を標的とした治療薬の開発が進むことで、眼炎症の進行を抑える新しい治療法が期待される。

用語解説／

- ※1 結膜上皮：目の表面（白目とまぶたの内側）を覆い、異物や病原体から目を守る重要なバリア。また、涙液中の成分を分泌する細胞もあり、眼の表面の乾燥を防ぐ役割も果たしている。本研究では、この結膜上皮が機械刺激にตอบสนองして炎症を引き起こす新たな役割を持つことが明らかになった。
- ※2 Piezo 1（ピエゾ1）:Piezo 1 は、細胞が圧力や引っ張りといった「機械的な刺激」を感知するためのメカノセンサー（機械感受性イオンチャネル）。2010年に発見され、2021年にはこの研究に貢献したアーデム・パタブティアン博士がノーベル生理学・医学賞を受賞した。Piezo 1 はカルシウムイオンを細胞内に流入させ、さまざまな細胞応答を引き起こす役割を持っている。本研究では、結膜上皮細胞がPiezo 1 を介して炎症反応を引き起こす仕組みが解明された。
*「Piezo」という名は、ギリシャ語の「圧力を加える」という意味の言葉に由来する。
- ※3 IL-6（インターロイキン6）: IL-6 は、炎症性サイトカインと呼ばれるタンパク質の一種で、体内で炎症が起きたときに免疫細胞や組織から放出される。免疫システムの調整や炎症の制御に重要な役割を果たすが、過剰

天然の抗酸化物質カテキンから新たな化合物を開発 酸化ダメージを持続的に抑制する薬剤となる可能性



昭和大学(東京都品川区／学長：久光正)の福原潔教授（薬学研究科 医薬化学分野）の研究グループは、量子科学技術研究開発機構と共同で、緑茶由来のカテキンとビタミンE類似体トロロックスを結合させた新規抗酸化物質を開発し、その高い抗酸化作用を明らかにした。本化合物は、フリーラジカルを効率的に除去し、細胞の酸化ダメージを抑制することで、疾患予防や治療への応用が期待される。本研究成果は、論文引用頻度の極めて高い国際学術誌「Antioxidants」に掲載された。

酸化ストレスは老化を加速させるだけでなく、がん、心疾患、脳障害などの発症に深く関与することが知られている。この現象は、体内で過剰に発生したフリーラジカルが細胞を損傷することで引き起こされるため、その発生や影響を抑えることを目的とした研究が、これまで数多く行われてきた。

福原教授と量子科学技術研究開発機構の共同研究グループは、酸化ストレスが関与する疾患の予防や治療に向けた新たな可能性を見出すため、緑茶に含まれるカテキンと、強力な抗酸化作用を持つビタミンE類似体「トロロックス」を組み合わせた、新しい抗酸化物質を開発した。この化合物は、カテキンとトロロックスの相互作用によって抗酸化能力を飛躍的に向上させることが特徴であり、個々の成分を単独で用いる場合と比べ、より強力な抗酸化ネットワークを形成して高い細胞保護効果を発揮する。

カテキンはフリーラジカルを抑制する天然の抗酸化物質として知られ、トロロックスは細胞膜の脂質を保護する水溶性ビタミンE

なIL-6の生成は慢性的な炎症や自己免疫疾患の原因となることがある。本研究では、Piezo 1 活性化がIL-6の産生を誘導することが示された。

- ※4 p38 MAPK (p38マップキナーゼ) :p38 MAPKは、細胞がストレスや炎症刺激にตอบสนองする際に活性化される重要なシグナル伝達分子。炎症性サイトカインの生成や免疫細胞の活性化を促進する役割があり、「炎症の引き金」として注目されている。本研究では、Piezo 1 の活性化がp38 MAPKを介してIL-6の生成を促進することが示された。
- ※5 CREB (クレブ : cAMP応答エレメント結合タンパク質) : CREBは、細胞の核内で働く転写因子で、遺伝子の発現を調節する役割を持っている。CREBが活性化されると、炎症性サイトカインやその他の重要なタンパク質の生成が促進される。本研究では、p38 MAPKがCREBを活性化し、それがIL-6の生成につながる事が確認された。

リリース時タイトル／どうして眼をこすってはいけないのか？ 新たな理由を発見 ～機械的刺激が目の炎症を引き起こす仕組みを解明～

掲載誌／The Ocular Surface (impact factor 2024: 6.0)

論文名／Mechanoreceptor Piezo1 channel-mediated interleukin expression in conjunctival epithelial cells: Linking mechanical stress to ocular inflammation

著者／Seiya Fukuoka, Naoki Adachi, Erika Ouchi, Hideshi Ikemoto, Takayuki Okumo, Fumihiro Ishikawa, Hidetoshi Onda, Masataka Sunagawa

掲載日／2025年1月9日（オンライン掲載日、2025年4月号掲載）

DOI／10.1016/j.jtos.2025.01.001

本件に関する問い合わせ先／昭和大学 医学部 生理学講座生体制御学部門 准教授 安達 直樹 TEL：03-3784-8110 E-mail：nadachi@med.showa-u.ac.jp

誘導体だが、これらを結合させることにより、従来の抗酸化物質を上回る持続的なフリーラジカル除去作用を持ち、長時間にわたって細胞の酸化ダメージを防ぐ。また、トロロックスと同等の細胞保護効果を持ちながら、カテキンの持つ生体適合性を活かした構造を有していることも本化合物の大きな特徴である。

酸化ストレスは、がん、動脈硬化、神経変性疾患（アルツハイマー病やパーキンソン病など）をはじめとする幅広い疾患の発症に関与しており、本研究成果は、これらの疾患の予防や治療への貢献が期待される。今後は、医薬品やサプリメントとしての実用化を視野に入れ、さらなる研究が進められる予定。

この研究成果は、国際学術誌「Antioxidants」に掲載され、「Science Featured」で紹介された。

リリース時タイトル／カテキンとビタミンEのハイブリッド化合物を開発 ～酸化ストレス性疾患に対する新たな予防・治療薬として期待～

掲載誌／Antioxidants (impact factor: 6.0)

論文名／Antioxidant activity of planar catechin conjugated with trolox

著者／Wakana Shimizu, Yoshimi Shoji, Kei Ohkubo, Hiromu Ito, Ikuo Nakanishi, Kiyoshi Fukuhara

DOI／10.3390/antiox13101165

Science Featured掲載URL／https://sciencefeatured.com/2025/01/29/green-tea-meets-vitamin-e-in-a-powerful-health-breakthrough/

本件に関する問い合わせ先／昭和大学 大学院薬学研究科 医薬化学分野 教授 福原 潔 TEL：03-3784-8186 E-mail：fukuhara@pharm.showa-u.ac.jp

超硫黄分子の新知見！超硫黄分子が拓く骨再生・変形性関節症の新たな治療戦略



昭和大学（東京都品川区／学長：久光正）大学院生の前村美希さん（歯学系研究科 顎顔面口腔外科学専攻4年）、矢野文子講師（歯学部 口腔生化学講座・統括研究推進センター）、宮本洋一教授（富士吉田教育部）のグループは、東北大学の赤池孝章教授（大学院医学系研究科 環境医学分野）のグループとの共同研究において、運動器における骨・軟骨代謝に対する超硫黄分子代謝の役割を解明した。本研究成果は、論文引用頻度の極めて高い国際学術誌「Redox Biology」に掲載された。

硫黄は火山の噴出物に多く含まれている元素で、火山地帯では黄色い結晶としてみられることがある。温泉地の卵が腐ったような独特な刺激臭は、硫黄と水素の化合物である硫化水素によるものだ。

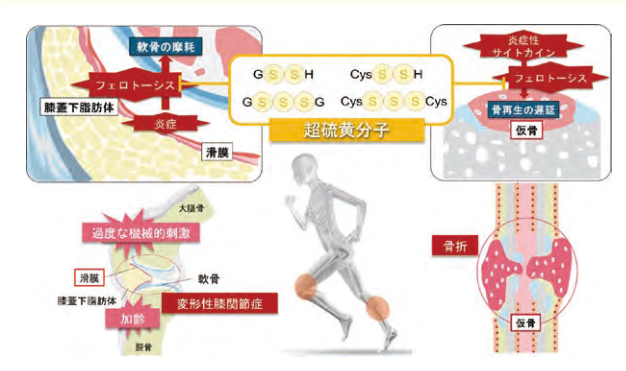
実は、硫黄は人体を構成する元素の中で7番目に多く、タンパク質を構成するアミノ酸であるメチオニンやシステインにも含まれている。また、玉ねぎやニンニクなどの食材にも硫黄を含む成分が含まれている。

東北大学大学院医学系研究科の赤池孝章教授らの研究グループは、ヒトの体内に「超硫黄分子」と呼ばれる複数の硫黄原子が連なった分子が多量に存在することを10年ほど前に発見し、生体内における酸化・還元の方の反応を担うユニークな活性分子としてさまざまな生理機能をもつことを明らかにした。「超硫黄分子」とは、血液や臓器内に存在するアミノ酸などの有機化合物に硫黄が結合した物質の総称。強力な抗酸化作用を持ち、活性酸素の働きをコントロールすると考えられており、過剰な活性酸素は、疲労や老化、疾患の一因とされている。

今回、昭和大学と東北大学の研究グループは、運動器疾患における超硫黄分子の役割を解明するため、超硫黄分子の産生が低下したマウスを用いて研究を進めた。その結果、超硫黄分子の産生が低下したマウスでは、骨折の治癒が遅れ（骨折治癒は新たな骨の再生によって行われる）、変形性膝関節症（OA）が悪化することが分かった。

さらに、超硫黄分子をマウスの膝関節に投与すると、OAの進行が抑えられることも確認された。また、関節を構成する細胞内に硫黄原子が取り込まれていることも明らかになった。

日本は世界でも類を見ない超高齢社会となっており、健康寿命



研究概要を示したイラスト

を延ばすことは非常に重要な課題である。大腿骨骨折や膝の痛みを引き起こすOAなどの運動機能障害は、日常生活に大きな影響を及ぼす。

今回の研究により、超硫黄分子が骨折や変形性膝関節症の治療に役立つ可能性が示され、新たな治療薬の開発につながる事が期待される。

本研究成果は、2025年2月11日付で国際学術誌「Redox Biology」に掲載された。

もし温泉地で「関節痛やこわばりに効能あり」と書かれた硫黄泉の案内を見かけたら、ぜひ「超硫黄分子」の働きを思い出してみてほしい。

掲載誌／Redox Biology (impact factor: 10.7)

論文名／Supersulfides contribute to joint homeostasis and bone regeneration

著者／Miki Maemura, Masanobu Morita, Seiryō Ogata, Yoichi Miyamoto, Tomoaki Ida, Kazuhiro Shibusaka, Soichiro Negishi, Masahiro Hosonuma, Taku Saito, Jun Yoshitake, Tsuyoshi Takata, Tetsuro Matsunaga, Eikan Mishima, Uladimir Barayeu, Takaaki Akaike, Fumiko Yano

DOI／10.1016/j.redox.2025.103545

本件に関する問い合わせ先／昭和大学 統括研究推進センター 矢野 文子
TEL：03-3784-8000 E-mail：fumikoyano@dent.showa-u.ac.jp

News & Topics

2025.4.1

1,207名の入職者を迎える春 日本一の医系総合大学を目指し新たな挑戦を誓う

4月1日、明治神宮会館にて令和7年度学校法人昭和医科大学入学式を挙行了した。

今年度は1,207名の新入職員が、昭和医科大学で新たな一歩を踏み出した。

開式に先立ち、ショパンコンクール金賞受賞者の根本海美さん（薬学部3年）によるピアノ演奏が行われ、多くの拍手に包まれた。

小口勝司理事長の訓示に続き、久光正学長から祝辞があった。久光学長は祝辞で「大学や病院には多くの職種があり、それぞれの分野で専門性と責任をもって業務に従事されています。価値のない業務はありません。皆さんの力が結集してはじめて、素晴らしい教育、そして素晴らしい医療が成り立っていきます。私たちは『ONE SHOWA』として心をついに、素晴らしい昭和医科大学を創っていきましょう」と述べた。

その後の講演では、小口理事長が「昭和医科大学は、日本一の医系総合大学を目指しています。これまで、『チーム医療』を重視した教育、大学病院での休日診療開始、変形労働時間制導入など、時代の先駆者として新しい医療文化の創造に挑戦し続けてきました。前例を踏襲することは簡単です。新たな挑戦には大きなエネルギーが必要になります。ただ、それがどれほど大変なこ

式典・行事



1 祝辞：久光正学長 2 会場の様子 3 動画上映：「上條秀介物語」 4 ピアノ演奏 5 洗足学園音楽大学の学生らによるパフォーマンス

とか理解をしていますが、挑戦をし続ける姿勢が重要であると考えています。皆さんも是非、チャレンジ精神を忘れずに、共に新たな文化の創造に挑戦していきましょう」と述べ、新入職員の奮闘に期待を寄せた。

式では辞令交付、新入職員宣誓、昭和医科大学宣言の唱和、校歌斉唱、学祖である上條秀介博士の生涯を描いた『上條秀介物語』の動画上映が行われたほか、本学と包括連携協定を締結している洗足学園音楽大学のミュージカルコースの学生らによるパフォーマンスが披露され、会場は賑やかな雰囲気包まれた。

2025.4.5

リカレントカレッジ入学式・開講式 新たな知と文化発展の拠点をめざして

4月5日、令和7年度春期昭和医科大学リカレントカレッジ入学式・開講式を上條記念館にて挙行之、143名が入学した。

本学の包括連携協定校である洗足学園音楽大学のチェリスト・荒庸子教授と同ミュージカルコース芸術監督であり、ピアノ伴奏を担当した篠原真客員教授の演奏により、華やかな開会となった。

小川良雄プリンシパルは式辞で「リカレントカレッジの理念は社会人の方の知的好奇心を満足させること、新しい知の創造・文化の発信の拠点となることです。受講生・講師が一体となって作り上げていく場となっております。講座の成果発表の場として学内での展示や上條記念館での発表会、フィールドワークなども用意されています。また、8月には夏の特別企画として、国際日本文化研究センターの磯田道史先生による歴史と医療についての講演を予定しております。楽しんで取り組んでいきましょう」と述べた。

また学校法人昭和医科大学小口勝司理事長より、自らの研鑽

式典・行事



に臨む一同を称え、祝辞が寄せられた。

受講生は今後、多彩なプログラムを受講し、知の探究を深めていく。

大学院入学式を挙 げさらなる医療の発展を誓う98名

4月5日、令和7年度昭和医科大学大学院入学式を上條記念館にて挙行した。医学研究科36名、歯学研究科29名、薬学研究科13名、保健医療学研究科の博士前期課程15名と博士後期課程5名のあわせて98名が、研究者としてのスタートを切った。

久光正学長は告辞で「大学院は学修・研究し、世の中にはまだない新たな知識・技術を自ら見出し、知を創造する組織です。これからは研究者・教育者として研究を続けながら後輩の育成も行い、世の中の医療の発展に寄与してほしいと思います。大学院は学問の中で最高学です。皆さんが4年間学修・研究し、素晴らしい成果を上げて立派な教育者、研究者となることを心から願っております」と述べた。

また、各研究科長からの挨拶があり、三村洋美保健医療学研究科長からは「これから学修・研究が始まりますが、一人ひとりがチ



1 上條記念ミュージアム見学の様子 2 式典の様子

ャレンジしてほしいと思います。皆さんの発想を指導教員の先生にぶつけてみてください。教員は社会に貢献できる研究として一緒に考えサポートします。健康に留意しながら研究活動を進めてほしいと思います」とメッセージが贈られた。

その後、校歌斉唱や昭和医科大学宣言の唱和が行われ、新入生一同、引き締まった面持ちで臨んでいた。

閉式後は上條記念ミュージアムの見学が行われた。新入生オリエンテーションも各研究科で実施し、カリキュラムや学位取得までの課程について熱心な指導が行われた。

助産学専攻科入学式を挙 げ大志を抱き、来年の春へと駆け出す

4月5日、令和7年度昭和医科大学助産学専攻科入学式を上條記念館にて挙行し、助産師を志す14名が入学した。

久光正学長の告辞（代読：鈴木久義保健医療学部長）に続き、小口勝司理事長から祝辞があった。

小口理事長は祝辞で「私は常日頃から、先生方に対してハード面だけでなく最高の教育を提供してほしいと願っています。皆さんは、その環境や教育を肯定的に享受して、楽しくそして厳しく1年間を過ごしていただければ、きっと未来は開けるでしょう。ただ、助産師になればいいというわけではなく、その先に目指すものがあるはずです。大いに大志を抱き、持続する志を持ってその夢の実現に励んでいただきたいと思います」と述べた。

また、下平和久助産学専攻科長は挨拶で「今年も、上條記念館のシダレザクラが満開を迎えました。ただ、『年年歳歳花相似 歳歳年年人不同（ねんねんさいさい 花あいになり さいさいねんね



1 挨拶：下平和久専攻科長 2 昭和医科大学宣言

ん人同じからず)』という詩の一節があるように、毎年花は咲くけれど、今と1年後では皆さんは大きく変わっているはずです。今桜を見ながら立派な助産師になろうと決意を新たにされた皆さんが、来年同じ桜を見ながら助産師として羽ばたける自分やこれまでの努力を褒めてあげられるかどうかは、この1年にかかっています。気を引き締めてこれからも勉強に専念してください」と述べた。

式では昭和医科大学宣言の唱和、校歌斉唱のほか、新入生代表による保護者の方々への挨拶が行われ、会場は感動の渦に包まれた。

本学で助産師を志す学生は、学士課程を卒業後、助産学専攻科に進学し、専門科目を1年間学修する。

校名変更に伴う新石銘板の除幕式挙

4月8日、昭和医科大学旗の台キャンパス正門前にて石銘板設置に伴う除幕式を執り行った。

この除幕式は令和7年4月1日より本学が「昭和医科大学」に校名を変更したことにより、装いを新たにした石銘板の設置を記念して行われた。

天候不順により本来実施予定であった4月1日より延期しての開催となったが、当日は快晴に恵まれ、多くの関係者が集まった。小口理事長、上條副理事長、久光学長の3名が曳綱役として除



1 記念撮影 2 除幕式の様子

幕が行われると大きな拍手が起こり、その後各学部長を交え記念撮影が行われ、喝采のまます式が執り行われた。

看護専門学校入学式を挙

4月2日、第62回昭和医科大学附属看護専門学校入学式を上條記念館で挙行し、新入生144名が看護の道への決意を胸に第一歩を踏み出した。

木内祐二学校長は告辞で「本校は90年以上にわたり、患者さん、地域と市民に広く貢献する看護師を育成してきた伝統のある学校です。昭和医科大学では、建学の精神である『至誠一貫』を大切にしています。相手の立場になって、まごころを尽くすという意味が込められています。また、看護専門学校では『清楚な美』という精神を大切にしています。校章のモチーフである百合の花のように誠実さ、真摯さ、謙虚さを含めた内面からの美しさを備えた看護師となってほしいと思いが込められています。清楚な美を映し出す心を日常生活の中から育ててください。これからの3年間で皆さんは看護に関わる多くの知識・技術・態度を身に付け、自らも驚くほど大きく成長していきます。忙しくも充実したわくわくした学習の日々を大切にしてください。皆さんの夢の実現に向けて共に学び、共に成長していきましょう」と述べた。

続いて、昭和医科大学 久光正学長より祝辞、学校法人昭和医



1 会場の様子 2 新入生代表による昭和医科大学宣言 3 告辞：木内 祐二学校長

科大学 小口勝司理事長、上條由美副理事長から来賓祝辞があり、新入生へ期待の言葉が送られた。

そして、世界的な医の倫理規定であるジュネーブ宣言と昭和医科大学の理念をもとに規定された昭和医科大学宣言を新入生代表が壇上にて唱和した。

式典終了後には、出席者全員による記念撮影が行われた。

医療の現場に旅立つ144名を祝う春 看護専門学校卒業式

3月7日、第59回卒業式を上條記念館で挙行した。144名が卒業を迎え、木内祐二学校長から総代に卒業証書が授与された。

木内学校長は告辞で「本校での学修を通して、チーム医療の必要性を理解し、患者中心のチーム医療の担い手として皆さんが大きく成長されたことを確信しています。4月からはいよいよ新人看護師としての日々が始まります。皆さんはチーム医療の重要な一員となるとともに、患者さんにとっては触れ合う時間が一番長く最も身近な医療人として信頼される立場となります。この3年間で学び培った『至誠一貫』のまごころを持ち、『清楚な美』の姿勢で患者さんに向き合う看護を実践してください。皆さんの夢の実現に向けて、これからも母校として皆さんを支援していきたいと思

います」と述べ、卒業生の門出を祝福した。卒業生代表は答辞で3年間の学生生活を振り返り「入学当初は、学ぶことの多さや初めて触れる授業内容に戸惑いましたが、それ以上に夢に近づいているという大きな喜びを感じました。領域別実習は自身の看護観を考えるよい機会になったとともに、看護師は最も患者さんに近い存在であること、患者さんの声を一番に聞きやすい立場にあることを実感しました。私たち59回生は、これからそれぞれの場所で新たに看護師としての第一歩を踏み



1 答辞を述べる卒業生 2 石井満賞・鈴木モヨ賞・昭校會賞 3 記念撮影

出します。社会に出て壁にぶつかり、心が折れそうになる日もあるかと思います。そんな時こそ、仲間と過ごした日々を思い出し、この学校で得た知識や経験を糧としていくとともに、学校の理念である『至誠一貫』を忘れずに目の前の相手と向き合い、志を持って努力を継続していくことをここに誓います」と決意を表した。

このほか、式典では、小口勝司理事長、上條由美副理事長、久光正学長、小風暁医学部長からの祝辞や、在学中に学業・人物ともに優秀であった卒業生に贈られる鈴木モヨ賞、石井満賞、昭校會賞の授与も行われた。

新しい命を助け支えるプロとして 助産学専攻科の14名に修了証書を授与

3月14日、令和6年度昭和大学助産学専攻科修了式を上條記念館で挙行了した。所定の課程を修了した14名に久光正学長から修了証書が授与された。

久光学長の告辞に続き、小口勝司理事長、水井美生助産学同窓会副会長から祝辞があった。

下平和久助産学専攻科長は挨拶で「近年、妊娠・出産は大変なものになりつつあり、産科医、助産師、麻酔科医、小児科医など多職種の連携が益々必要になってきます。その中で中心となるのが助産師です。情報が錯綜する中、妊産婦さんに一番近くに寄り添って、情報を提供できるのが助産師だと思います。これから働く中で、様々な困難に直面し、落ち込むこともあるかもしれませんが、本課程を修了した皆さんなら柔軟に対応し、乗り越えることができますと思います。妊産婦さんの育てる力、産む力をサポートで



1 記念撮影 2 表彰：専攻科長賞 3 修了証書授与

きる存在であることを忘れずにいてください」と激励の言葉を述べた。

また、1年間の課程における成績優秀者に贈られる助産学専攻科長賞、実習時における成績優秀者に贈られる助産学同窓会長賞の授与が行われた。

修了生代表による昭和大学宣言が行われ、最後に記念撮影をし、閉式となった。

新たな門出を迎える 533名の医療人

3月18日、令和6年度昭和大学卒業式をパシフィコ横浜国立大ホールで挙行了し、533名が医療人としての門出を迎えた。

久光正学長は告辞で「皆さんは日本の節目である昭和100年に大学を卒業するとともに、昭和大学の歴史においても節目の年の卒業生です。日々更新される知識や技術を逐一吸収していくという強い意欲と行動力をもって、常に自分自身をアップデートし続けてください。一方で患者さんに接する態度は、『至誠一貫』の精神で経験年数を重ねても変わらないでほしいと思います。卒業生の皆さんが『変われる強さと変わらぬ想い』を持ち続けて活躍されることを心から願います」と述べた。

続いて、小口勝司理事長は祝辞で「今、日本は変わろうとしています。というより、変わらざるを得ない状況にあります。少子高齢化、人口減少、経済低迷など、政治的にも経済的にも不安定で変化が大きい状況にあります。そんな中でも医療の心は不変であるべきだと考えています。どうか建学の精神である『至誠一貫』を忘れずに、全力を尽くして人々のために貢献する人生を選んでいただけることを願っています」と述べた。

また、在校生代表は送辞で「これから皆さんは、社会人として新たな一歩を踏み出されます。時には困難に対峙することもあるかもしれませんが。そのような時には、昭和大学で懸命に駆け抜けた日々が前へと進む原動力となり、先輩方の背中を押してくれることでしょう。チーム医療を実践しながら、それぞれの場所で唯一無二の輝きを放てるよう、在校生一同心より応援しています」と激励の言葉を贈った。

卒業生代表は答辞で「本日、私たちは昭和大学を卒業し、それぞれの道へと歩き出します。講義や実習を通じて多くの人々と出会い、多様な価値観を知り、自分の考えを深められたことは将来



1 卒業生代表の答辞 2 学位記伝達式会場の様子（医学部） 3 式典の様子 4 卒業の歌・応援歌（昭和大学グリークラブ・OBOG有志） 5 卒業生へのエール（昭和大学応援指導部） 6 卒業生の皆さん

医療現場で活躍するための糧になったと感じています。また、コロナ禍という未曾有の状況において学びを深めたことは、未来の医療従事者としての責任と向き合う良い機会となりました。今後も日々の学びを怠ることなく、苦難に直面している人々や病に向き合う患者さんに寄り添い、力になれるよう精進してまいります」と抱負を述べた。

また、在学中に優秀な結果を残した卒業生に贈られる上條賞、同窓会賞、上條旗ヶ岡賞、そして最優秀チューデント・インストラクター賞の授与が行われた。式典の後半では、グリークラブの合唱や応援指導部によるパフォーマンス、ショパンコンクール金賞受賞者の根本海美さん（薬学部2年）によるサプライズ演奏が披露され、会場は賑やかな雰囲気包まれた。

式典終了後は各学部で学位記伝達式が執り行われ、学部長から一人ひとりに学位記が手渡された。

大学院修了式を挙行 研究者としての門出を祝う

3月25日、令和6年度昭和大学大学院修了式を上條記念館で挙行了し、医学研究科26名、歯学研究科22名、薬学研究科10名、保健医療学研究科博士前期課程13名、保健医療学研究科博士後期課程7名、合わせて78名が研究者としての門出を迎えた。

はじめに久光正学長から告辞があり、続いて小口勝司理事長から祝辞、各研究科長からの挨拶があった。

小口勝司理事長は祝辞で「学位を取得されたということは、学者としてその道を進む資格を得たということになります。研究と学問はとても面白いです。好奇心を大切に、今後もそれぞれが面白いと感じる分野の研究を続けてほしいと思います。また、研究者だけではなく、大学の教育者となる資格も取得されました。やはり、教育も好きではないとできません。今後も、何事にも興味を持って、研究・教育こそが学問の道だということを実感して、充実した毎日を過ごしていただきたいと思います」と修了生のさらなる飛躍に期待を寄せた。

高見正道歯学研究科長は、小口理事長の祝辞の内容を受けて「指導者、すなわちリーダーというのは2つの側面があります。1つは、部下を育成する義務があるということ。どんな場面でも感情的に怒鳴らず、冷静に諭すように心がけてください。もう1つの



1 祝辞：小口勝司理事長 2 学位記授与 3 式典の様子

側面は、新しく何かに挑戦する必要があるということ。挑戦すると例外なくトラブルが起こりますが、めげずに頑張ってください。冬の寒さを越えて桜が咲くように、皆さんも力いっぱい自分の色に咲き誇っていただきたい。皆さんのご活躍を心からお祈り申し上げます」とエールを送った。

そして、在学中に学業・人物ともに優秀であった修了生に贈られる上條賞の授与と、歯科医学・医療を通じて国際的な貢献をした修了生に対して国際歯科学士会アワードの授与が行われた。

白衣に袖を通し 臨床実習へと臨む81名

3月28日、令和7年歯学部白衣授与式を上條記念館で執り行った。

同式は、今後約2年間の臨床実習に臨む新5年生を対象に、歯科医師を目指す者としての自覚を促し、心構えを新たにすることを目的に、毎年実施している。

馬場一美歯学部長は告辞で、「白衣を着ることによって医療人としての責務・覚悟が求められるようになります。実習をする病院には多くの患者さんが先進性・専門性の高い高度な医療を希望されて来院されますが、患者さんの善意に甘えずにしっかりと勉強して、誇りをもって臨床実習に臨んでください。我々教職員も、皆さんにとって最も合理的で学びが多い臨床実習にできるよう、全力を尽くしていきたいと思います」と述べた。

告辞の後、81名一人ひとりに教育職員から白衣が授与され、学生たちはこれから始まる臨床実習への決意を新たにした。

白衣授与の後は、久光正学長、榎宏太郎歯科病院長をはじめ、列席者からの祝辞があり、最後に臨床研修歯科医を代表して、岡野有里さんから講話があった。

岡野さんは「皆さんに配られた白衣は、単なる実習着ではなく、医療従事者としての責任と使命を象徴するものです。そして、歯科医療は、口腔の健康を通して全身の健康に寄与する重要な分



1 白衣授与 2 告辞：馬場一美歯学部長 3 白衣授与

野であり、生活の質を向上させるための大切な知識と技術となります。今まで身につけてきた知識をアウトプットするだけでなく、様々な教科を融合させ、自ら考えることを忘れずに理解を深めていってください。失敗や苦労は、皆さんをより強く、より優れた歯科医師に育ててくれます。共に学び、至誠一貫を体現できる歯科医師となれるよう精進していきましょう」とエールを送り、学生たちは熱心に耳を傾けていた。

真新しい白衣を身につけた学生たちは、本学附属病院をはじめとする各施設で実習に取り組み、チーム医療の現場において研鑽を重ねていく。

75名が高度な看護実践を目的に受講 認定看護師教育センター修了式

3月26日、令和6年度昭和大学認定看護師教育センター修了式を上條記念館で挙行し、久光正学長より所定の課程を修了した5期生75名に修了証書が授与された。

今年度は手術看護分野18名、腎不全看護分野16名、認知症看護分野16名、感染管理分野10名、クリティカルケア分野15名が10か月の受講・臨地実習を経て、修了を迎えた。

久光正学長は式辞で「課程を修了した75名がこれから各病院・各分野で活躍されるということを本当に嬉しく思います。看護師としての知識・技術を持った上で、それぞれの専門分野で深い知識と高い技術を習得して、一層活躍していくということは本当に素晴らしいことです。今後も新たな知識・技術の習得を行い、患者さんに親身に寄り添うという精神は変わらずに、看護に努めていただきたいと思います」と述べた。

また、小口勝司理事長より祝辞、リカレントカレッジの小川良雄プリンシパル、認定看護師教育センターの三村洋美センター長か



1 修了証書授与 2 会場の様子 3 挨拶：小川良雄プリンシパル

ら修了生に向けて挨拶があった。

最後に修了生代表が「振り返ると今日までの道のりは決して平坦なものではありませんでした。多くの課題に終わりが見えずに焦り悩んだときに、寄り添ってくれた仲間や励ましてくれた先生方のおかげで本日を迎えることができました。認定看護師として歩む道のりはこれからが本番です。学びを深めることでより一層浮き彫りとなった課題に対して、一つ一つ着実に取り組んでいく所存です。分野を超えた同じ志を持つ仲間とともに、昭和大学で得た知識と技術を最大限に生かし切磋琢磨してまいります」と挨拶して、閉会となった。

薬学部・保健医療学部が実施 スプリングオープンキャンパス

3月に各キャンパスでスプリングオープンキャンパスを実施し、多くの方々に本学への理解を深めていただいた。

薬学部（3月22日） 薬学部スプリングオープンキャンパスを上條記念館にて開催し、201名の方々が参加した。

まず、上條ホールにて全体説明会を行い、「VRを活用した早期臨床実習体験」、「シミュレータを活用した臨床薬剤師体験」、「新キャンパス・カリキュラムについて」、相談コーナー「教員による個別相談」「在学生とのフリートーク」などの各企画コーナーを楽しんでいた。

保健医療学部（3月29日） 保健医療学部のオープンキャンパスを横浜キャンパスで開催し、本学の概要や入試情報について説明した後、学科・専攻別に職種紹介を行った。

同日、保健医療学部リハビリテーション学科では、横浜キャンパスにてオープンキャンパスを実施した。理学療法士、作業療法士について説明し、普段使用している講義室や演習室で模擬授業



1 保健医療学部オープンキャンパス（全体説明） 2 薬学部スプリングオープンキャンパス 3 保健医療学部オープンキャンパス（模擬授業）

を行った。最後は、学生とのフリートークの場を設け、多くの方々に保健医療学部について理解を深めていただいた。

令和7年度入学試験

令和7年度入学試験が終了

今年度から一般選抜入試の試験場は、大阪・福岡試験場を廃止し、五反田TOCおよび、旗の台キャンパスで実施した。

一般選抜入試 令和7年度入学試験結果

令和7年4月1日現在					
学部	入試区分	募集人員	試験日	志願者数	合格者数
医学部	一般選抜入試（Ⅰ期）	83		2,723	221
	新潟県地域枠選抜入試	7		155	7
	静岡県地域枠選抜入試	8		198	8
	茨城県地域枠選抜入試	4	一次 令和7年2月7日(金) 二次 令和7年2月15日(土) または16日(日) ※地域枠選抜入試は2月15日(土)のみ	40	3
	山梨県地域枠選抜入試	2		12	2
	薬学部（医学部併願）	4		100	12
歯学部	一般選抜入試（Ⅱ期）	18	一次 令和7年3月1日(土) 二次 令和7年3月8日(土)	1,212	19
	一般選抜入試（Ⅰ期）	42	令和7年2月6日(木)	385	85
	大学入学共通テスト利用入試	5	大学入学共通テスト 令和7年1月18日(土)・19日(日) 面接試験 令和7年2月6日(木)	158	28
薬学部	一般選抜入試（Ⅱ期）	5	令和7年3月2日(日)	84	6
	一般選抜入試（Ⅰ期）	95	令和7年2月6日(木)	355	188
	大学入学共通テスト利用入試	5	大学入学共通テスト 令和7年1月18日(土)・19日(日) 面接試験 令和7年2月6日(木)	198	58
看護学科	一般選抜入試（Ⅱ期）	20	令和7年3月2日(日)	116	41
	一般選抜入試（Ⅰ期）	30	令和7年2月6日(木)	240	77
	大学入学共通テスト利用入試	4	大学入学共通テスト 令和7年1月18日(土)・19日(日) 面接試験 令和7年2月6日(木)	199	45
保健医療学部	一般選抜入試（Ⅱ期）	若干名	令和7年3月2日(日)	35	21
	理学療法学専攻				
	一般選抜入試（Ⅰ期）	13	令和7年2月6日(木)	64	32
	大学入学共通テスト利用入試	2	大学入学共通テスト 令和7年1月18日(土)・19日(日) 面接試験 令和7年2月6日(木)	49	19
	一般選抜入試（Ⅱ期）	若干名	令和7年3月2日(日)	11	6
	リハビリテーション学科				
	一般選抜入試（Ⅰ期）	5		6	6
	理学療法学専攻一般選抜入試（Ⅰ期）利用の作業療法学専攻第二希望併願入試	若干名	令和7年2月6日(木)	5	5
	大学入学共通テスト利用入試	1	大学入学共通テスト 令和7年1月18日(土)・19日(日) 面接試験 令和7年2月6日(木)	15	10
作業療法学専攻	一般選抜入試（Ⅱ期）	若干名		0	0
	理学療法学専攻一般選抜入試（Ⅱ期）利用の作業療法学専攻第二希望併願入試	若干名	令和7年3月2日(日)	0	0

医学部

選抜Ⅰ期で志願者大幅増！

医学部の一般選抜入学試験は2月に選抜Ⅰ期、3月に選抜Ⅱ期を実施しました。選抜Ⅰ期においては地域枠選抜も併せて行いました。令和7年度のⅠ期は地方試験場を廃止したにもかかわらず前年度に比べ大幅に志願者が増えました。Ⅱ期では多少志願者は減りました。Ⅱ期においては引き続き、面接試験をMultiple Mini-interview（MMI）方式にて実施しま

した。今年度についても、本学を第一志望にしている受験生は増えているように感じました。

本学の初年次の全寮制教育と初年次から始まる臨床実習、全学年にわたるチーム医療教育をとおして、社会に貢献する優れた医療人へと成長してくれることを期待しています。

医学部長 小風 暁

歯学部

歯学部入学者への期待

歯学部の一般選抜入試(Ⅰ期)は2月6日に実施し、定員42名の募集に対して224名の出願がありました。また同日に行われた大学入学共通テスト利用入試では定員5名の募集に対して101名の出願でした。3月2日には、一般選抜入試(Ⅱ期)を行い、定員5名の募集に対して68名の出願がありました。Ⅰ期の合格発表は2月12日、Ⅱ期は3月4日に行いまし

た。令和7年度入試では年内入試も含めて772名と多くの志願者がありました（前年比279名増）。本学は4月から昭和医科大学として新たなスタートを切りましたが、新入生の皆様が実り多き学生生活を送られ、至誠一貫を具現し国民の健康増進に貢献できる医療人へと成長されることを期待いたします。

歯学部長 馬場 一美

薬学部

シン・臨床薬剤師を目指す入学者を選抜

薬学部一般選抜入試（Ⅰ期）を2月6日に実施し、355名の志願者から特待生合格者96名、追加合格者92名を発表しました。医学部一般選抜入試（Ⅰ期）利用の薬学部併願入試には100名が出願し、合格者4名、追加合格者8名を選抜しました。大学入学共通テスト利用入試には198名が出願し、合格者5名、追加合格者53名でした。一般選抜入試(Ⅱ期)

は3月2日に実施し、116名の志願者から合格者20名、追加合格者21名を発表しました。

4月からの新入生の方々が、富士吉田から始まる学生生活を通じ、「至誠一貫」の精神を体現できるシン・臨床薬剤師へと成長してくれることを期待しています。

薬学部長 原 俊太郎

保健医療学部

受験者数減で入試の在り方を再考

2月6日実施の一般選抜入試（Ⅰ期）では、看護77名、理学32名、作業11名の計120名を、大学入学共通テスト利用入試（面接）では、看護45名、理学19名、作業10名の計74名をそれぞれ合格者として発表しました。また、3月2日実施の一般選抜入試Ⅱ期では、看護21名、理学6名を合格者となりました。令和7年度の志願者は前年度より看護、理学

で増加したものの、作業で横ばいしないし減少という結果でした。令和8年度入試に向けて、広報活動の活発化と入試科目の見直し等を強力に進める必要があります。また令和8年度入学生から適用となる「学生納付金の大幅減額」は大きなトピックスです。4月には元気な新入生を富士吉田でお迎えしたいと思っています。

保健医療学部長 鈴木 久義

令和7年度医・歯・薬学研究科春季Ⅱ期入学試験結果					
研究科	試験区分	日程	募集人員	志願者数	合格者数
医学研究科	Ⅱ期	2025年2月22日(土)	若干名	27	26
歯学研究科			若干名	25	22
薬学研究科			若干名	2	1
合計			—	54	49

医学部 医学科

第93回生… 107名

青柳奈佑・浅見優太・安達詩文・阿部柁己・有田愛清・安斉和俊・池上篤志・石田絢大・石原京佳・伊東ななみ・伊藤野々花・伊藤瑞穂・井上明音・今津綸太・臼田有佑・馬本美礼・浦上和也・大野俊行・大野萌花・大原愛央・小野京香・甲斐崎汐織・掛井玲於・片岡佳也・片山耀介・加藤雅大・金浜七海・金安麻那・鎌田友香・鎌田凌・川上亜優・川口瑚乃香・川角美由佳・河田壮平・木村冴夏・木村優斗・窪田和孝・吳明洋・合田美和・河野有哉・近藤哲平・酒井水緒・坂口理菜・坂田茉莉那・佐川舜・櫻井春輝・佐々木理子・佐藤貴文・雫石綜平・志野原巧・嶋田ちさと・下島颯太・須澤律・鈴木晃希・鈴木雅子・鈴木美優・鈴木理恵・田内佑果・高橋憲弘・高平理帆・高松冴華・竹森早穂・津村光紀・中家颯子・中島大魁・中山亮太・西谷秋星・根本泰雅・根本貴史・納富恵里花・野口朋子・林あや乃・林昂輝・原こころ・原田章太郎・坂東拓弥・東龍徳・肥後祥可・富加津直人・福田和奏・富士恵理子・藤原朝香・堀江ひとみ・堀口麻垂耶・前田萌海・松島史拓・松本璃來・松元礼一郎・丸尾陽子・三浦仁菜・美島礼佳・三原まりあ・三宅高寛・森涼介・安岡倫香・山岡愛英・山崎涼雅・山中英右・山本きらら・山本樹果・吉岡樹正・吉村昌紘・渡峻太郎

(ほか4名)

歯学部 歯学科

第43回生… 87名

新垣汐音・荒木一成・石川いづみ・井関俊介・磯野和津貴・市川裕大・伊藤優馬・伊藤唯希瑚・稲垣公貴・井上舞桜・井上るな・今中大晴・大槻麗香・樗木混佑・大場英史・奥仲伽葉羅・小倉良太・小原奈子・開發春生・川上智聖・菊川紗璃・菊地弘晃・喜多望海・北村心愛・木村奈々子・桐谷七彩・郷佳保里・合田華子・小坪之子・後藤梨杏・小林蒼洋・小町谷祥司・小柳慶汰・齋藤真奈美・酒井倫太郎・酒向未久・重田海斗・春藤大輝・白井紗瑛・須賀翼・杉山瑠翼・鈴木優希・陶山直周・高島洸太・種木凌也・手島望・寺岡美結・富田詩音・富田萌葉・富田雄音・中村英里・中村優汰・南堂藍里・西川華保子・西村詠・丹羽樹果梨・野島萌子・野村祐矢・早川優菜・平野可菜・伏見向陽・舟木文・星野実咲・細川大智・松浪巨昂・松林希・水原

準・三角理紗・三好雄大・村寄智仁・村山佳誉・矢ヶ崎彩・保谷友紀・山口佳祐・山崎千沙代・横関満理奈・吉成悠貴・米山真由子・李悟・渡邊力

(ほか7名)

青木誠太郎・青木萌愛花・朝来野梨沙・味岡美紅・麻生武希・阿部有佐・安部祥太郎・新井菜々子・荒木美咲・李智奈・飯島竜平・飯田明日香・飯田渚月・飯田莉菜・飯野凜・池田梨奈代・伊佐地広佳・石田陸・板垣安美・市川愛実・稲野里咲・稲見全紀・稲生侑希・井上沙瑛子・井上拓海・岩田優希・宇都あすか・榎本未希・大田紗衣香・大津実祐・大塚幸夢希・大庭菜月・大場靖子・大矢萌々菜・岡田奨平・岡田春香・岡野祐紀・小川希彩・沖優香・尾野光・小原夕奈・小俣賢吾・柿田穂香・柏木遥香・加藤里優・金井彩夏・金尾里菜・兼村侑里・錦木千代美・神島悠花・加山絢子・川嶋彩花・河原美香・川村里央・菅野佑香・紀旺来・菊田千晶・菊池のどか・岸理恵・木名瀬涼子・木村春霞・草薙瑞穂・栗原聖・栗山琴音・栗山朋子・黒木日菜子・小池夏穂・興梠由加子・小谷野祐菜・小山葵・小山真生・齊木詩乃・齋藤珠希・榊原寧心・坂野李々夏・佐々原七海・佐藤匠・佐藤司・塩谷香琳・篠原彩・篠原沙弥・芝田梓・島田りりは・庄司圭佑・進藤磨衣子・須賀さくら・鈴木海斗・鈴木ひかり・瀬尾菜々葉・関根志穂・多賀深桜菜・高木純佳・高崎万里子・高嶋杏美・高橋彩香・高橋彩那・高橋麗帆・高橋涼・田上琴乃・竹村駿介・橘彩夏・田中智陽・田中麻絢・田中結・棚橋隆則・谷口実優・田宮結・田本匠・團野倫世・千賀莉紗・千原有紗・土田亜美・角田有咲・坪井文音・積田悠生・手嶋美羽・笥田凜太郎・東海林里織・徳江香南子・徳弘岳之・戸塚友海・飛田奈緒美・富塚稚菜・長井貴広・中井川真理・中嶋恭子・中嶋聡美・中谷優希・長塚大樹・中村英美璃・中村妃奈子・中村祐輝・中村祐実子・中山実来・西岡慶太郎・西川華・西澤杏香・西村未来・長谷川友音・長谷川愛奈・林明香・早野桃花・一杉百花・平岩菜々香・平岡穂奈美・平出優葵・弘末百香・福島諒・福村友里・福元稔貴・藤井峻太郎・藤田勇希・保坂優・星野多恩・星野光帆子・堀瑞貴・堀野心・松永優花・松本未結・丸山香菜子・萬田夕貴・宮川夢・宮坂仁菜・村上明日香・茂木瞳・本越孝昌・本橋理一・森上華恋・森本明香里・野内彩可・柳澤彩華・山田彩香・横澤真由子・吉田智陽・渡邊有理紗

(ほか3名)

保健医療学部 看護学科 | 第25回生… 110名

藍田知佳・青木梨奈・青柳果歩・芦田陽菜・足羽杏理・天野瑠菜・有村朋美・安藤汐里・飯野未海・飯星萌・石崎日奈子・石原久瑠美・伊藤楓・伊藤隼也マトンド・伊藤和歌・稲木理紗・井上慧・伊端詩織・上小路波奏・大久保早弥香・大橋葵・大柳玲奈・大山梨里花・岡侑花・岸本恵里・木村百花・熊谷環・熊谷風優・栗原美咲・石代愛優香・小林柚月・小松莉奈・小山明莉・小山春香・今藤真莉奈・齋木日菜子・西郷李莉花・齋藤恒星・佐藤百華・澤樹音・柴田陽花・下岡莉子・正儀原佑菜・白髭実和子・鈴木桜・鈴木佐那・鈴木麻奈美・高倉愛・高見真由・田中亮帆・田中美桜・丹野愛梨・千葉愛里・千葉レイア志緒理・都築茉由佳・都築美賀・富井陽朗華・中川杏怜・永島未歩・中村鼓・中村美波・西島知佳・畑山実里・濱田己莉・早川ひなの・林穂乃花・原美沙・原田雅史・東中川初・肥田野理子・平賀詩乃・福渡滯・藤波ひな・保刈友花・堀井まゆ・牧野音々・増岡有紗・松岡美樹・松村美羽・眞野楓佳・三浦琉璃・三島凜央・三林杏実・南李々花・宮川夏実・村木涼珠・村山唯華・茂木千夏・茂越凜・安田夏帆・山崎真理愛・山崎優那・山城玲菜・山田梓・山田菜海・山田莉歌・山田理子・山村美結・山本涼夏・横山聖奈・龍麗海・和田優花・渡部萌

(ほか7名)

保健医療学部 理学療法学科 | 第25回生… 35名

相原海星・阿久澤ひかり・井上颯章・今西洸太・宇高萌・岡庭天音・小野寺里遥・片桐悠登・片桐隆希・金子晴・北村愛理・香崎菜心・児玉彩佳・小林律毅・齋藤駿輔・櫻井玲邑那・佐藤珠々子・篠崎純・城田未来・秦一希・関口拓登・谷口あかり・橋本涼一・長谷川玲・日野美雪・日比生康亮・前村美羽・宮田岳史・宮原快維・宗岡航平・森雅基・森山穂乃花・山平愛美・山本佳歩・山本尚旺

保健医療学部 作業療法学科 | 第25回生… 16名

阿相日茉梨・伊藤彰吾・薄葉未来・内田春菜・内山瑚乃・小澤史歩・北村絢子・小口舞子・小林明日香・鈴木千絵・DANGOLTISA・徳永陽介・野口真李・野原冬竜・水口颯汰・宮崎汐音

看護専門学校 | 第59回生… 144名

青木愛梨・青木心夏・青柳咲希・青山心響・秋月捺未・秋野悠・浅原心之介・阿部帆花・阿部真優・荒井梨那・五十嵐英那・石黒莉乃・石澤心・磯田明里・市川杏奈・井上聖菜・井上花・今里莉奈・岩見歩佳・内田凜音・内山紗希・宇都宮千尋・遠藤聖奈・遠藤真輝・及川明日香・大井優果・大内瑠菜・大浦綾音・大上美空・大川弥空・太田杏花・大橋萌絵・大矢ひかり・岡晴美・奥山幸美・尾崎菜々美・長田駿友・小野樹里・小野花子・小野沢遥香・小野寺美玖・梶山瑠花・加藤瑠菜・川島彩愛・北村真央・工藤葵・熊谷綾夏・小島さゆり・小林梨紗・小松彩乃・小安みくる・小山碧葉・坂田彩音・佐久間乃愛・佐藤朱莉・佐藤

愛華・佐藤希和・佐藤愛美・佐藤モニカ・佐藤柚杏・澤口美空・椎名琴音・芝優希・清水瞳那・清水瑞希・東海林らら・神保夢乃・杉崎佳乃・鈴木彩花・須藤美咲・須永海光・住友恵奈・関口純倫・園田寛奈・園田夏希・高田龍之介・高橋春菜・高橋美香・高山凌嘉・滝本大生・田原瞳・玉田心愛・千葉未莉・中條結希・鄭香奈・塚田悠理・土井玲奈・時枝桜・戸村夏子・豊山望愛・中川実嶺・中川莉緒・長崎彩寧・永瀬鈴・南雲真希・並木沙菜・西銘菜・西山朋花・根本怜奈・野田桃香・野村千尋・箱守紗良・橋本春花・林有星・林幸奈・針谷美里・春田優花・伴藍子・樋口華・藤野真愛・細矢珠羽・前嶋美月・前田里佳・増田旭・町田麗凼・松崎ゆらら・松本彩音・松本麻衣・水野華穂・三橋沙弥・宮本杏樹・望月ひなた・森紅羽・森森々美・森川真帆・森田莉奈・柳澤真緒那・山内夏鈴・山根美結・吉澤誠太郎・吉田七海・吉田華・和光亜由

(ほか11名)

修了生一覧

大学院・専攻科

昭和大学大学院

令和6年度春季修了生

医学研究科 | 26名

青山利奈・池田均・石黒智之・巖楳香名子・桂沙樹・黒岩魁・小菅将太・笹本優・清水国香・鈴木裕美・高岡哲也・橘知之・CHULUUNBAT OYUNCHIMEG・陳霖稷・豊田仁志・中村彰太・野口雅仁・廣瀬俊輔・福岡聖也・細川麻衣子・望月裕一郎・森井智視・柳澤薫・山荷大貴・山崎裕太・吉見翔太

歯学研究科 | 22名

赤穂和樹・芦田圭介・池端陽介・小野慎之介・片桐崇史・加藤宏隆・河田蘭子・金田一和香・酒向遥香・佐藤太郎・澁坂和大・田上理沙子・田口直渡・田原広子・徳増梨乃・戸羽一綺・中村夏野・奈良麻衣・久本奈未・山森庄馬・吉澤瑞真・渡邊匡崇

薬学研究科 | 10名

石橋未央・岩崎恵里佳・大島有貴・大野朋子・小原朋也・榎村彩英子・清水稚菜・中山華・村田勇人・船山英治

保健医療学研究科（前期） | 13名

磯飛雄一・遠藤万里子・大久保竜希・川村彩珠・菊地武・小山峻平・紺野健太・園部大輔・高林郁美・長井瑠菜・中原甲斐・橋本雄作・山下元樹

保健医療学研究科（後期） | 7名

石本陽平・井上駿也・隅真一郎・関雅良・高橋知之・永田賢司・水井美生

令和6年度 国家試験合格発表

昨年度に続き全試験で高水準の新卒合格率を維持

令和6年度の医師・歯科医師・薬剤師・看護師・助産師・理学療法士・作業療法士の国家試験合格者が順次発表され、全ての国家試験で全国合格率を上回る結果となった。

医師 | 102名

青柳孝佑・浅見優太・安達詩文・阿部柁己・有田愛清・池上篤志・石田純大・石原京佳・伊東ななみ・伊藤野々花・伊藤瑞穂・井上明音・今津綸太・臼田佑佑・馬本美礼・大野俊行・大野萌花・大原愛央・小野京香・甲斐崎汐織・掛井玲於・片岡佳也・片山耀介・加藤雅大・金浜七海・金安麻那・鎌田友香・鎌田凌・川上亜優・川口瑚乃香・川角美由佳・河田壮平・木村冴夏・木村優斗・窪田和孝・吳明洋・合田美和・河野有哉・近藤哲平・酒井水緒・坂田茉莉那・櫻井春輝・佐々木理子・佐藤貴文・雫石綜平・志野原巧・嶋田ちさと・下島颯太・須澤律・鈴木晃希・鈴木雅子・鈴木理恵・田内佑果・高橋憲弘・高平理帆・髙松冴華・竹森早穂・津村光紀・中家颯子・中島大魁・中山亮太・西谷秋星・根本泰雅・根本貴史・納富恵里花・林あや乃・林昂輝・原こころ・原田章太郎・坂東拓弥・東龍徳・肥後祥可・富加津直人・福田和奏・富士恵理子・藤原朝香・堀江ひとみ・堀口麻亜耶・前田萌海・松島史拓・松本璃来・松元礼一郎・丸尾陽子・三浦仁菜・美島礼佳・三原まりあ・三宅高寛・森涼介・安岡倫香・山崎涼雅・山中英右・山本きらら・山本樹果・吉村昌紘・渡峻太郎

(ほか4名) | 既卒者 3名

歯科医師 | 92名

新垣汐音・荒木一成・石川いづみ・磯野和津貴・市川裕大・伊藤優馬・伊藤唯希瑚・稲垣公貴・井上舞桜・井上るな・今中大晴・大槻麗香・樗木滉佑・大場英史・奥仲伽羅羅・小倉良太・小原奈子・開發春生・川上智聖・菊川紗璃・菊地弘晃・喜多望海・北村心愛・木村奈々子・桐谷七彩・郷佳保里・合田華子・小坪之子・後藤梨杏・小林蒼洋・小町谷祥司・小柳慶汰・齋藤真奈美・酒井倫太郎・酒向未久・重田海斗・春藤大輝・白井紗瑛・須賀

助産学専攻科

助産学専攻科 | 14名

石井桃華・姥浦藍子・末永悠佳・鈴木碧・鈴木佳子・高橋美羽・高橋美和・竹澤もも菜・中村茉里・松崎未来・水戸瀬真希・宮地理子・村木美織・茂原このは

過去10年間で最難度、新卒合格率は92.5%

医師 第119回医師国家試験が令和7年2月8日と9日に実施されました。本年は6学生107名全員を卒業させて試験に臨みました。しかし、残念ながら8名が不合格となり、新卒合格率は92.5%、既卒受験者を含めた合格率は90.3%と、過去10年間で最も低い結果となりました。

本年度の試験は難化し、一般問題・臨床問題のボーダーラインが昨年より9点低い221点（73.7%）でした。これまでの過去問題中心の学習では対応が難しくなっていることが明らかです。来年度は、新カリキュラム1期生が受験します。考えさせる問題や新出問題にも対応できると信じています。新卒合格率100%を目指し、教育職員一丸となって取り組みます。

臥薪嘗胆！

医学部教育委員長 泉 美貴

第119回医師国家試験

試験日 令和7年2月8日(土)・2月9日(日)
合格発表 令和7年3月14日(金)

	全国	私立大学	昭和大学		
			全体	新卒	既卒
受験者	10,282名	3,776名	113名	107名	6名
合格者	9,486名	3,523名	102名	99名	3名
合格率	92.3%	93.3%	90.3%	92.5%	50%

教員と学生が一体となり、
私立17大学中2位の高い合格率

歯科医師 第118回歯科医師国家試験結果が発表され、本学は全国平均合格率70.3%に対し92.9%であり、新卒は97.7%の合格率で、私立17大学中2位、国公立を含めた29大学中でも2位となり、昨年を越える成績となりました。とくに新卒は87名

翼・杉山瑠翼・鈴木優希・陶山直周・高島洸太・種市凌也・手島望・寺岡美結・富田詩音・富田萌葉・富田雄音・中村英里・中村優汰・南堂藍里・面川華保子・西村詠・野島萌子・野村祐矢・早川優菜・平野可菜・伏見向陽・舟木文・星野実咲・細川大智・松浪巨昂・松林希・水原準・三角理紗・三好雄大・村寄智仁・村山佳誉・矢ヶ崎彩・保谷友紀・山口佳祐・山崎千沙代・横関満理奈・吉成悠貴・米山真由子・李悟・渡邊力
(ほか7名) | 既卒者 7名

薬剤師 | 180名

青木誠太郎・青木萌愛花・朝来野梨沙・味岡美紅・麻生武希・阿部有佐・安部祥太郎・新井菜々子・荒木美咲・李智奈・飯島竜平・飯田明日香・飯田渚月・飯田莉菜・池田梨奈代・伊佐地広佳・石田陸・板垣安美・市川愛実・稲野里咲・稲見全紀・井上拓海・宇都あすか・榎本未希・大田紗衣香・大塚幸夢希・大庭菜月・大場靖子・岡田奨平・岡田春香・岡野祐紀・小川希彩・沖優香・尾野光・小原夕奈・小俣賢吾・柿田穂香・柏木遥香・加藤里優・金井彩夏・金尾里菜・兼村侑里・鍋木千代美・神島悠花・川嶋彩花・河原美香・川村里央・菅野佑香・紀旺来・菊田千晶・菊池のどか・岸理恵・木名瀬涼子・木村春霞・草薙瑞穂・栗原聖・栗山琴音・栗山朋子・黒木日菜子・小池夏穂・興梠由加子・小谷野祐菜・小山葵・齊木詩乃・齋藤珠希・榊原寧心・坂野李々夏・佐々原七海・佐藤匠・佐藤司・塩谷香琳・篠原彩・篠原沙弥・芝田梓・島田りりは・庄司圭佑・進藤磨衣子・須賀さくら・鈴木海斗・鈴木ひかり・瀬尾菜々葉・関根志穂・多賀深桜菜・高木純佳・高崎万里子・高嶋杏美・高橋彩香・高橋彩那・高橋麗帆・高橋涼・田上琴乃・竹村駿介・橘彩夏・田中智陽・田中麻絢・田中結・棚橋隆則・谷口実優・田宮結・田本匠・園野倫世・千賀莉紗・千原有紗・土田亜美・角田有咲・坪井文音・積田悠生・手嶋美羽・寛田凜太郎・東海林里織・徳江香南子・飛田奈緒美・富塚稚菜・長井貴広・中嶋恭子・中嶋聡美・中谷優希・長塚大樹・中村英美璃・中村妃奈子・中村祐輝・中村祐実子・中山実来・西岡慶太郎・西川華・西澤杏香・長谷川友音・長谷川愛奈・林明香・早野桃花・平岡穂奈美・平出優葵・弘末百香・福島諒・福村友里・藤井峻太郎・藤田勇希・星野光帆子・堀瑞貴・堀野心・松永優花・松本未結・丸山香菜子・萬田夕貴・宮川夢・宮坂仁菜・村上明日香・茂木瞳・本越孝昌・本橋理一・森上華恋・森本明香里・野内彩可・柳澤彩華・山田彩香・横澤真由子・吉田智陽・渡邊有理紗
(ほか3名) | 既卒者 19名

看護師 | 251名

[保健医療学部看護学科106名] 藍田知佳・青木梨奈・青柳果歩・芦田陽菜・足羽杏理・天野瑠菜・有村朋美・安

受験して85名が合格できた背景には、学生自身の頑張りはもちろんのこと、6年生へのチューター制度の成熟による個別指導の徹底と、学生に近い存在の特別奨学生である大学院生による学修サポート、国試対策委員による学生相互の支援体制など教員と学生が一体となって取り組んだ成果だと考えます。ご協力いただいた全ての方々に感謝を申し上げるとともに、今後も今回の結果に続くことができるように取り組んでまいりたいと思います。

第118回歯科医師国家試験					
試験日 令和7年2月1日(土)・2月2日(日)					
合格発表 令和7年3月14日(金)					
	全国	私立大学	昭和大学		
			全体	新卒	既卒
受験者	3,039名	2,229名	99名	87名	12名
合格者	2,136名	1,498名	92名	85名	7名
合格率	70.3%	67.2%	92.9%	97.7%	58.3%

成績下位者に対する対策を強化し、 私立56大学中4位の高い合格率

薬剤師 令和6年度第110回薬剤師国家試験の結果が発表され、今回の総正答数の合格基準は213問以上(正答率としては61.7%以上)でした。この基準は、昨年度(210問以上(61.0%以上))よりやや高くなっています。全国の新卒ならびに受験者全体の合格率は昨年とほぼ同様でしたが、本学の新卒の合格率は昨年より2.88%上昇し90.45%でした。また、既卒の合格率が76.00%と高かったこともあり、全体の合格率は88.24%と、昨年より3.75%上昇していました。この合格率は全私立56大学中4位、国公立を含めた74大学中9位にあたります。今後も成績下位者に対する対策を強化し、卒業試験不合格者を少なくするとともに、さらに新卒合格率の向上を目指し、先生方と学修指導に取り組んでいきたいと思ひます。

薬学部教育委員長 原 俊太郎

第110回薬剤師国家試験						
試験日 令和7年2月22日(土)・2月23日(日)						
合格発表 令和7年3月25日(火)						
	全国	私立大学	昭和大学			
			全体	新卒	既卒	旧4年制
受験者	13,310名	12,188名	204名	178名	25名	1名
合格者	9,164名	8,229名	180名	161名	19名	0名
合格率	68.9%	67.5%	88.2%	90.5%	76.0%	0%

社会の変化を捉え応じる力を問う傾向、 全体で90%以上の合格率

看護師 受験者全体の合格率は90.1%（新卒：95.9%）、採点除外等の取扱いをした問題はありませんでした。一般問題と状況設定問題では、前回よりも状況設定問題に五指択一、五指択

藤汐里・飯野未海・飯星萌・石崎日奈子・石原久瑠美・伊藤楓・伊藤和歌・稲木理紗・井上慧・伊端詩織・上小路波奏・大久保早弥香・大橋葵・大柳玲奈・大山梨里花・岡侑花・岸本恵里・木村百花・熊谷環・熊谷風優・栗原美咲・石代愛優香・小林柚月・小松莉奈・小山明莉・小山春香・今藤真莉奈・齋木日菜子・西郷李莉花・齋藤恒星・佐藤百華・澤樹音・柴田陽花・下岡莉子・正儀原佑菜・白髭実和子・鈴木桜・鈴木佐那・高倉愛・田中亮帆・田中美桜・丹野愛梨・千葉愛里・千葉レイア志緒理・都築茉由佳・都築美賀・富井陽朗華・中川杏怜・永島未歩・中村鼓・中村美波・畑山実里・濱田己莉・早川ひなの・林穂乃花・原美沙・原田雅史・東中川初・肥田野理子・平賀詩乃・福渡滯・藤波ひな・保刈友花・堀井まゆ・牧野音々・増岡有紗・松岡美樹・松村美羽・眞野楓佳・三浦琉璃・三島凜央・三林杏実・南李々花・宮川夏実・村木涼珠・村山唯華・茂木千夏・茂越凜・安田夏帆・山崎真理愛・山崎優那・山城玲菜・山田梓・山田菜海・山田理子・山村美結・山本涼夏・横山聖奈・龍麗海・和田優花・渡部萌
(ほか7名) | 既卒者 1名

[医学部附属看護専門学校145名] 青木愛梨・青木心夏・青柳咲希・青山心響・秋月捺未・秋野悠・浅原心之介・阿部帆花・阿部真優・荒井梨那・五十嵐英那・石黒莉乃・石澤心・磯田明里・市川杏奈・井上聖菜・井上花・今里莉奈・岩見歩佳・内田凜音・内山紗希・宇都宮千尋・遠藤聖奈・遠藤真輝・及川明日香・大井優果・大内瑠菜・大浦綾音・大上美空・大川弥空・太田杏花・大橋萌絵・大矢ひかり・岡晴美・奥山幸美・尾崎菜々美・長田駿友・小野樹里・小野花子・小野沢遥香・小野寺美玖・梶山瑠花・加藤瑠菜・川島彩愛・北村真央・工藤葵・熊谷綾夏・小島さゆり・小林梨紗・小松彩乃・小安みくる・小山碧葉・坂田彩音・佐久間乃愛・佐藤朱莉・佐藤愛華・佐藤希和・佐藤愛美・佐藤モニカ・佐藤柚杏・澤口美空・椎名琴音・芝優希・清水瞳那・清水瑞希・東海林らら・神保夢乃・杉崎佳乃・鈴木彩花・須藤美咲・須永海光・住友恵奈・関口純愉・園田寛奈・園田夏希・高田龍之介・高橋春菜・高橋美香・高山凌嘉・滝本大生・田原瞳・玉田心愛・千葉未莉・中條結希・鄭香奈・土井玲奈・時枝桜・戸村夏子・豊山望愛・中川実嶺・中川莉緒・長崎彩寧・永瀬鈴・南雲真希・並木沙菜・西山朋花・根本怜奈・野田桃香・野村千尋・箱守紗良・橋本春花・林有星・林幸奈・針谷美里・春田優花・伴藍子・樋口華・藤野真愛・細矢珠羽・前嶋美月・前田里佳・増田旭・町田麗凪・松崎ゆらら・松本彩音・松本麻衣・水野華穂・三橋沙弥・宮本杏樹・望月ひなた・森紅羽・森奈々美・森川真帆・森田莉奈・柳澤真緒那・山内夏鈴・山根美結・吉澤誠太郎・吉田七海・吉田華・和光亜由（ほか11名）| 既卒者 3名

理学療法士 | 34名

相原海星・阿久澤ひかり・井上颯章・今西洸太・宇高萌・

二の問題が多く出題されました。問題文にある情報を的確に読み解き、学修した知識、技能、態度を統合させて推論し、解答を導く力が求められています。また今回は、地域・在宅看護に関する問題が例年より先に出題されており、近年の社会情勢を反映した出題があったことから、社会の変化を捉え応じる力を修得することが必要とされています。

第114回看護師国家試験					
試験日 令和7年2月16日(日)					
合格発表 令和7年3月24日(月)					
	全国	昭和大学			看護専門学校
		全体	新卒	既卒	全体
受験者	63,131名	106名	105名	1名	148名
合格者	56,906名	106名	105名	1名	143名
合格率	90.1%	100%	100%	100%	97.9%

理学療法士 受験生全体の合格率は89.6%(新卒95.2%)で、採点除外等の取扱いがなされた問題は7問（理学療法士専門5問、理学療法士作業療法士共通2問）でした。新しい指定規則、カリキュラムによる理学療法管理学の必修化に伴い、職場管理や理学療法教育、職業倫理に関する出題がありました。また、現場での対応を意図した出題もあり、理学療法に関する総合的な知識と専門職種としての態度を学び、多様化する保健・医療・福祉・介護等のニーズに対応しうる能力を身に付けることが求められます。

第60回理学療法士国家試験				
試験日 令和7年2月24日(月)・2月25日(火)				
合格発表 令和7年3月21日(金)				
	全国	昭和大学		
		全体	新卒	既卒
受験者	12,691名	35名	35名	0名
合格者	11,373名	34名	34名	0名
合格率	89.6%	97.1%	97.1%	—%

作業療法士 受験生全体の合格率は85.8%（新卒92.5%）で、採点除外等の取り扱いがなされた問題は3問（作業療法士専門1問、理学療法士・作業療法士共通問題2問）でした。昨年に引き続き、指定規則改正後のカリキュラムに即した問題が出題されていました。専門領域の症例問題では臨床における実践、画像情報の利用に関する出題が出題されていました。また、医療・介護保険制度やチーム医療の推進やハラスメント、個人情報保護についての理解を問う内容もあり作業療法士として多職種との協業や職業倫理の遵守の考え方が求められています。

第60回作業療法士国家試験				
試験日 令和7年2月24日(月)・2月25日(火)				
合格発表 令和7年3月21日(金)				
	全国	昭和大学		
		全体	新卒	既卒
受験者	5,693名	16名	16名	0名
合格者	4,887名	13名	13名	0名
合格率	85.8%	81.3%	81.3%	—%

岡庭天音・小野寺里遥・片桐隆希・金子晴・北村愛理・香崎菜心・児玉彩佳・小林律毅・齋藤駿輔・櫻井玲邑那・佐藤珠々子・篠崎純・城田未来・秦一希・関口拓登・谷口あかり・橋本涼一・長谷川玲・日野美雪・日比生康亮・前村美羽・宮田岳史・宮原快維・宗岡航平・森雅基・森山穂乃花・山平愛美・山本佳歩・山本尚旺

作業療法士 | 13名

阿相日茉莉・薄葉未来・内山瑚乃・小澤史歩・小口舞子・小林明日香・鈴木千絵・DANGOLTISA・徳永陽介・野口真李・野原冬竜・水口颯汰・宮崎汐音

保健師 | 20名

芦田陽菜・熊谷風優・今藤真莉奈・下岡莉子・高見真由・田中亮帆・丹野愛梨・千葉愛里・都築茉由佳・林穂乃花・肥田野理子・堀井まゆ・南李々花・村木涼珠・山城玲菜・山田理子・山本涼夏・和田優花 (ほか2名)

助産師 | 14名

石井桃華・姥浦藍子・末永悠佳・鈴木碧・鈴木佳子・高橋美羽・高橋美和・竹澤もも菜・中村茉莉・松崎未来・水戸瀬真希・宮地理子・村木美織・茂原このは

保健師 受験者全体の合格率は94.0%（新卒96.4%）でした。採点除外の取り扱いがなされた問題はありませんでした。新出題基準の出題数が増え、新カリキュラムに関連し現代社会をふまえたより深い理解と臨床判断力を身につけることが求められています。

	昭和大学			
	全国	全体	新卒	既卒
受 験 者	7,658名	20名	20名	0名
合 格 者	7,196名	20名	20名	0名
合 格 率	94.0%	100%	100%	—%

助産師 受験者全体の合格率は98.9%（新卒99.3%）でした。採点除外の取り扱いがなされた問題はありませんでした。新カリキュラムに対応した出題基準となり、分娩に関する知識だけではなく、より幅広い乳児分野の対策が必要であり、産後の母子のアセスメント能力を問う問題が増加傾向にあります。

	昭和大学			
	全国	全体	新卒	既卒
受 験 者	2,050名	14名	14名	0名
合 格 者	2,027名	14名	14名	0名
合 格 率	98.9%	100%	100%	—%

保健医療学部教育委員長 大屋 晴子

富田妃華（佐野）・富田桃子（日比谷）・中小原快（聖徳学園）・中島結衣（菊里）・中田結子（筑波大学附属）・中目量太（致道館）・中谷帆乃可（日比谷）・西村優希（田園調布雙葉）・沼倉佳人（早稲田）・野口隼汰（鉾田第一）・葉菫太洋（長岡）・林真央（聖心女子学院高等科）・春成優（東京都市大学等々力）・姫野紗々良（フェリス女学院）・平谷心（昭和学院秀英）・福田望結（女子学院）・福渡凜（雙葉）・藤澤優羽（頌栄女子学院）・藤田基希（駿台甲府）・藤田理央（洗足学園）・ブライヤー茉莉衣（長岡）・星遙那（柏陽）・細田健介（駒込）・堀口華子（豊島岡女子学園）・本多翔（海陽）・前原悠希（駿台甲府）・増澤永人（攻玉社）・益田煌士（聖光学院）・丸田悠莉（國學院大學久我山）・三木理佐子（横浜雙葉）・水口怜美（昭和学院秀英）・道綾乃（光塩女子学院高等科）・宮野桃花（大妻多摩）・村上晴香（沼津東）・望月満帆（淑徳）・森綯大（芝）・森康一郎（筑波大学附属駒場）・森下聡希（天王寺学園）・矢島健吾（浦和（県立））・柳元美緒（鶴丸）・山上碧泉（雙葉）・山口遼也（巢鴨）・山崎航（東京都市大学付属）・吉岡祐人（専修大学松戸）・吉田葵（山手学院）・盧真朝（城北（私立））・渡邊真央（お茶の水女子大学附属）・渡辺ゆき（松本深志）・渡邊律（在外教育施設） (ほか6名)

歯学部 歯学科 | 100名

青木愛佳（田園調布学園高等部）・浅野瑞貴（桐蔭学園）・石井結（開智）・石賀陽妃（暁）・石川華（玉川学園高等部）・石田優（逗子開成）・伊田彩花（日本大学豊山女子）・伊藤歩夢（三田国際学園）・伊藤熙乙（広尾学園小石川）・稲田大雅（宮崎西）・岩崎帆乃花（昭和女子大学附属昭和）・岩田那令（岐阜）・岩渕智世（南山）・内田有咲（森村学園高等部）・梅田大雅（明治学園）・榎本紳吾（学習院高等科）・大澤理子（四ツ葉学園）・大祢尊玲（暁星）・岡田莉奈（栄東）・小川海人（茨城）・荻原凜太郎（獨協）・斧田啓佑（仙台第二）・金井京織（十文字）・金森星明（皇學館）・金子恵大（土浦日本大学）・金子真彩（成蹊）・神谷大樹（京華）・川畑慶悟（麗澤瑞浪）・岸本蘭（仁愛女子）・北川美雨（品川女子学院高等部）・木原実咲（第二）・金恵埜（横浜国際）・木村桜子（東京農業大学第一）・國竹五月（湯梨浜学園）・久保壮矢（東京農業大学第一）・窪寺佑（桐朋）・桑本虎太郎（駿台甲府）・鋳持百凜（中央大学附属横浜）・小井手涼香（湘南白百合学園）・小見山葉（開智）・小室大喜（森村学園高等部）・近藤ひまり（愛知）・齋藤哲大（宇都宮）・齋藤輝莉（淑徳与野）・齋藤実咲（山形東）・坂井里緒（十文字）・阪井亮介（淳心学院）・酒井亮輔（駒場東邦）・柴山佳子（高崎女子）・清水昂樹（佐久長聖）・鄒佳芸（淑徳）・関口智也（早稲田佐賀）・高場遥加（田園調布学園高等部）・高橋完輔（早稲田佐賀）・高橋謙太郎（広島学院）・高橋佑奈（本庄東）・高畑翠（立教女学院）・瀧本美安（桐蔭学園）・竹谷真優子（昭和女子大学附属昭和）・多田都和子（大手前高松）・辰野実玲（篤谷）・谷川柊真（甲府第一）・俵崇（桐蔭学園）・寺岡伶央菜（静岡雙葉）・豊山莉帆（東京家政大学附属女子）・直江謙太（立正大学付属立正）・中村仁（土佐）・奈良有紗（大宮）・西山佑希（大成）・沼尾優璃（秀明）・野阪奈那（神戸海星女子学院）・長谷川幹八（常総学院）・原田羽歌（湘南白百合学園）・比嘉紗良（開智）・廣島あつこ（高田）・福田光佑（常総学院）・福永淳一（翔凜）・富士田ひまり（光ヶ丘女子）・星野多毘（外国の学校等）・松岡良哉（桜丘）・松本祐輝（城北埼玉）・三国彩子（日本女子大学附

属）・苗峻愷（佐原）・馬上幸征（世田谷学園）・本木暖（文徳）・森崎優（東京女学館）・森嶋啓花（森村学園高等部）・柳下聖樹（暁星）・山崎こはる（ふたば未来学園）・山城遂大（修道）・山中佑剛（東京農業大学第一）・横倉綾乃（久留米大学附設）・横山信之介（かえつ有明）・吉田柊介（奈良学園）・和田璃々菜（お茶の水女子大学附属）・渡瀬月渚（浜松北）・渡辺舞子（新潟） (ほか4名)
編入学 | 7名 金坂羽衣子（成立学園）・串馬遥（在外教育施設）・小島快（慶應義塾）・澤部佑里香（豊島岡女子学園）・濱島聡宏（高輪）・山田ひかり（富山中部） (ほか1名)

薬学部 薬学科 | 209名

青木仁胡（浦和麗明）・赤星真琴（田園調布）・秋田湊（関東学院六浦）・秋山紗佳（横浜創英）・浅利結梨（戸塚）・荒井香澄（星野）・飯田美奈（熊谷女子）・石垣匠海（安田学園）・石川茉莉（聖心女子学院高等科）・石崎瑠璃菜（横浜明朋）・石津萌々菜（西）・泉桃葉（仁愛女子）・磯貝莉緒（駒込）・板垣柑汰（東京都市大学付属）・井手菜々佳（鎌倉女学院）・伊藤茜（鶴見）・井村菜々恵（四ツ葉学園）・岩佐海希（上野）・岩崎真貴（高岡南）・牛嶋彩音（光陵）・内田莉乃（神奈川学園）・梅澤このみ（竜ヶ崎第一）・卯元舞桜（盈進）・江藤葵里（鶴見大学附属）・榎谷友香（昭和女子大学附属昭和）・遠藤みとな（狭山ヶ丘）・大久保寧々（田園調布学園高等部）・大重陽斗（向上）・大槻美希（横浜栄）・大橋詩（市ケ尾）・大和久優太（大宮北）・岡島未央子（三輪田学園）・荻野楓月（常葉大学附属橘）・沖本苺香（AICJ）・小倉琉聖（所沢北）・小澤暉（横浜清風）・小野瀬主真（水戸葵陵）・加賀友三奈（葦山）・梶谷郁月（品川女子学院高等部）・粕谷愛（横浜隼人）・片岡諭美（普連土学園）・勝野峻祐（大宮開成）・金田弥桜（作新学院）・狩野美空（武南）・川井里菜（滝）・河瀬友里（大垣北）・川辺容子（正智深谷）・菊地理緒奈（品川翔英）・岸本すみれ（鶴嶺）・北澤励翔（市川東）・木村麻莉子（鎌倉女学院）・久保達生（川口市立）・黒田航平（桐蔭学園）・公平成香（駒込）・粉川結芽（湘南白百合学園）・後藤優妃奈（見華学園）・後藤麗翔（鶴見大学附属）・小林明日莉（桐蔭学園）・小林綾乃（八王子学園八王子）・小林永和（市ケ尾）・小松原仁美（品川女子学院高等部）・近藤乃愛（三条）・西連地結菜（茨城）・佐伯拓海（目黒（都立））・佐伯有紀（清泉女学院）・酒井美咲（田園調布学園高等部）・榊梨那（大妻）・坂本雄規（三田国際学園）・坂本優菜（山脇学園）・佐口夕莉（桐光学園）・櫻井優樹（広尾学園）・迫田千穂（品川女子学院高等部）・佐藤愛佳理（桜丘）・佐藤愛夏（桐蔭学園）・佐藤優衣（日本大学第三）・佐藤悠仁（新島学園）・鮫島結衣（日本大学第二）・猿田真子（湘南白百合学園）・史方華（日本大学第一）・塩見桔梗（横浜雙葉）・品川絵麻（川村）・篠山莉沙（大妻中野）・柴田みなみ（白百合学園）・清水佳乃（松本深志）・清水波輝（桜丘）・進藤智紀（淑徳）・新藤夢依（不二聖心女子学院）・神保明由香（頌栄女子学院）・杉田柊峯（普連土学園）・杉原尋斗（暁星）・鈴木沙恵伽（追浜）・鈴木詩音（宇都宮女子）・鈴木塔子（横浜共立学園）・諏訪杏奈（ノートルダム清心）・瀬川奈央（橘）・関佑太（國學院）・瀬戸穂波（三輪田学園）・曹裕理（桜美林）・高杉亮太（関東学院）・高野愛梨（星野）・高橋菜月（淑徳）・滝澤紗彩（松本深志）・田口南波（聖園女学院）・竹内こころ（松本県ヶ丘）・田中陽菜（日本大学鶴ヶ丘）・田中美和（品川女子学院高等部）・千國芽以（土浦日本

令和7年度 新入生

新入生一覧 4学部・専門学校

医学部 医学科 | 131名

青木萌音（田園調布学園高等部）・赤石竜空（暁星）・赤坂環（横浜共立学園）・赤澤柚果（湘南）・赤津万理（鳴友学園女子）・明間正樹（森村学園高等部）・芦田真央（南）・足立祐佳（神奈川大学附属）・足立原陽香（鎌倉女学院）・阿部真太郎（栄東）・天野未悠（桐蔭学園）・新井凌太（日本大学）・飯田信矢（海城）・石井歩輝（幸福の科学学園）・石井日南乃（共立女子）・石川暉人（栄東）・井谷咲くら（フェリス女学院）・市川冴憂（上野）・伊藤加恵奈（国際基督教大学）・伊藤幸奈（豊島岡女子学園）・伊東和奏（青山学院横浜英和）・入船浩太郎（愛光）・江島世那（愛光）・大垣龍太郎（広尾学園）・大川さくら（白百合学園）・大島智光（高輪）・大谷一葉（東京学芸大学附属）・大津翔吾（土浦第一）・岡野菜々美（雙葉）・小倉貫誠（駿台甲府）・小倉智

大学)・津久井葉亜希(聖徳学園)・戸田聖菜(尾道北)・供田大和(獨協埼玉)・豊田航平(大森学園)・内藤悠太(横浜立野)・永井諒士(朋優学院)・長澤京香(三田国際学園)・中島はるか(富士見)・仲田周平(青陵)・中野佑菜(桐蔭学園)・中村麻絢(昭和女子大学附属昭和)・中山采耶(皇學館)・名塚絢音(桐蔭学園)・名波華夢(日本女子大学附属)・錦織真希(岸根)・西田圭歩(桜丘)・西野寧姫(常総学院)・西村涼牙(目黒(都立))・野出実鈴(朋優学院)・野田采希(名城大学附属)・野田琉太(工学院大学附属)・野村杏奈(田園調布学園高等部)・野村はな(大船)・畑中優奈(海老名)・蜂須賀真彩(京都産業大学附属)・服部夏実(清水東)・濱田堃希(山脇学園)・林禎子(鴎友学園女子)・東祐(明治学院東村山)・樋口卓人(熊谷)・平野香帆(名城大学附属)・廣瀬紅緒(沼津市立沼津)・福岡璃音奈(三田国際学園)・福岡梨紗(昭和女子大学附属昭和)・藤代大聖(松戸国際)・藤原仁斎(浜松日体)・船津陽菜(埼玉栄)・舟生華梨(山形西)・降幡静野(鎌倉)・保坂恵里奈(聖マリア女学院)・堀田那央子(西武学園文理)・堀井春佑(伊勢)・本間ひかり(鳥取西)・前島理沙(穎明館)・巻島彩芭(越谷南)・摩島浩史(攻玉社)・増井信成(川和)・松尾こより(青陵)・松崎怜衣(昭和女子大学附属昭和)・松永香凜(薬園台)・間宮大智(三田国際学園)・丸本悠斗(江北)・丸山千里(作新学院)・三木りづる(平塚江南)・三角華梨(山村学園)・蓑原芽生(雪谷)・宮家里奈(東京都市大学等々力)・宮寄栄里(長野日本大学)・宮澤相良(武蔵野大学附属千代田高等学院)・村山侑意稀(戸山)・望月結倫乃(開智日本橋学園)・森岡泉水(広尾)・森川采音(神奈川学園)・森山智尋(みなと総合)・八木杏捺(市ケ尾)・八木橋鈴那(カリタス女子)・山岡ゆい(麻布大学附属)・山口遥叶(茗溪学園)・山口日菜(桐蔭学園)・山下優維(作新学院)・山田彩斗(富岡)・山田麻由(横浜隼人)・山田萌衣(大船)・山本毬彩(桐蔭学園)・横田琴己(麻布大学附属)・吉岡小雪(東京純心女子)・吉住凪歩(清泉女学院)・吉田華央(千葉東)・吉高愛乃(桐蔭学園)・吉野乃南(淑徳巣鴨)・依田楓(中央大学附属横浜)・米澤心優(日本大学豊山女子)・渡邊ゆら(多摩大学目黒)・渡邊怜杏(田園調布) (ほか18名)

保健医療学部 看護学科 | 106名

相原倫子(大妻多摩)・阿比留佑月(金沢)・池上優光(跡見学園)・池田楓(大船)・伊藤小百合(川崎医科大学附属)・井波秀紀(大宮国際)・井上知夏(和光)・上田真愛(日本女子大学附属)・上原千佳(元石川)・宇田川琴乃(二松学舎大学附属柏)・内倉颯太(東大和)・榎田愛莉(金沢)・江村咲貴(松陽)・江村莉奈(松陽)・大石李香(住吉)・大川和華(橘)・大河原望(跡見学園)・大瀧結(昭和女子大学附属昭和)・大村優菜(横浜隼人)・岡崎桃子(横須賀学院)・緒方沙和(橘)・岡部未優(恵泉女学園)・小川花菜(杉並)・小倉美波(日本大学第三)・長田莉奈(霧が丘)・小澤知夏(鶴沼)・加藤世理奈(松が谷)・金子美結(田園調布雙葉)・木水奈々美(関東学院)・久能福音(検見川)・窪田英梨奈(山手学院)・桑田汐里(文教大学付属)・小泉董子(横浜創英)・越智遥(市ケ尾)・小菅美優(桐蔭学園)・小林心実(田園調布学園高等部)・小原咲央(市ケ尾)・齋藤ほのか(日本大学第二)・佐喜真ヒスイ(横浜隼人)・佐久間咲希(尚網学院)・佐藤凪(東)・佐藤希音(六日町)・澤田愛生(山脇学園)・島田結菜(山脇学園)・下井千代莉(武蔵野大学)・白石涼華(昭和女子大学附属昭和)・

新藤エレナ(鶴沼)・杉山野々夏(加藤学園)・鈴木杏奈(翔凜)・鈴木結(橋本)・瀬口咲(白梅学園)・高橋咲妃(秋田南)・高橋里苑(昭和女子大学附属昭和)・高松紗衣(富士森)・高山らら(跡見学園)・竹内花織(光陵)・竹政汐理(荏田)・舘川奈花(深川)・立杗桃果(東洋英和女学院高等部)・田村美沙季(静岡雙葉)・千葉いろは(神奈川学園)・寺井幸穂(昭和)・徳永夏実(御殿場南)・富田一花(聖園女学院)・中緒美希(諏訪二葉)・中澤咲姫(千葉女子)・中西美釉(文京学院大学女子)・中村茉南(共立女子第二)・中村友里愛(成瀬)・中本好咲(八雲学園)・中山晴愛(市ケ尾)・成瀬紗衣(日本大学藤沢)・西池花梨(大妻中野)・西宮優空(向上)・根本琉香(藤沢西)・服部優衣(湘南白百合学園)・樋口凜(鶴嶺)・秀嶋純夏(鶴嶺)・日昔円香(富士見丘)・蛭間芽(成瀬)・深谷愛音(土浦第三)・福島さとみ(品川女子学院高等部)・福永百花(市ケ尾)・古川夏帆(桐光学園)・細川千歌(日本大学豊山女子)・堀野百華(大船)・槇島悠月(白鷗女子)・松浦暖乃(朋優学院)・松尾鳴(桐光学園)・三木陽花(桜美林)・水口綾(聖セシリア女子)・三宅連太郎(武南)・村尾優菜(捜真女学校高等学部)・村木偲乃(横須賀総合)・茂木陽菜(静岡サレジオ)・森芽生(八雲学園)・安永麗乃(成瀬)・山田芽育(実践学園)・大和美紗(下田)・横川美衣(松陽)・吉岡真凜(麻溝台)・吉崎美緒(浜松日体)・吉田耕太郎(狛江)・吉田恵(文教大学付属) (ほか2名)

編入学 | 5名

内田凜音(昭和大学医学部附属看護専門学校)・隈本幸乃(公益社団法人藤沢市医師会湘南看護専門学校)・関口純愉(昭和大学医学部附属看護専門学校)・春田優花(昭和大学医学部附属看護専門学校) (ほか1名)

保健医療学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 | 44名

安東芽那(日本大学櫻丘)・飯田歩(横浜水取沢)・伊藤颯音(関東学院六浦)・井上蒼介(成田)・井上湊太(二俣川看護福祉)・岩佐乃杏(南会津)・岩田奈緒(東)・遠藤紗有(外国の学校等)・大木乃樹(岸根)・太田汐音(相洋)・小野しおり(加藤学園)・小袋莉奈(東大和南)・解奕鳴(暁星国際)・海江田美咲子(大村)・金子ころ(横浜創英)・北村史陽(美方)・三枝優芽(実践女子学園)・酒井美緒(浜松日体)・佐野蒼季(巨摩)・庄司晏樺(横須賀総合)・竹内舞衣(駒沢学園女子)・中野泰成(鶴見大学附属)・長山侑世(成城)・新山堅太(松本県ヶ丘)・広川結斗(豊島学院)・福島向日葵(横須賀大津)・藤田詩央里(実践女子学園)・伏谷航輝(元石川)・古庄佑成(輝翔館)・牧野蒼生(横浜隼人)・増田汰輝(森村学園高等部)・増原希美(霞ヶ浦)・向本真太郎(荏田)・武藤綴平(茅ヶ崎北陵)・村上蒼(日本学園)・森夏穂(麻溝台)・八代陸宇(生田東)・山浦美悠(桜美林)・山崎道大(鹿島学園)・吉田遥哉(小川) (ほか4名)

保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻 | 12名

厚見佳枝(青陵)・上田彩未(甲府昭和)・梅木莉子(飯田風越)・田野文桜(大宮北)・塚本真奈美(つくば国際大学東風)・中山暁穂(平塚学園)・波戸理良(S)・平塚亮冴(高浜)・水摩千優(日本女子大学附属)・森田大輝(荏田)・山本楯人(川崎北)・吉竹悠真(横浜水取沢)

看護専門学校 | 144名

浅野美湖(常盤木学園)・安達有花(笠岡)・荒木玲奈(府中)・有木有沙(関東学院六浦)・池田美結(長野(市立))・石井杏美(文教大学付属)・石川響希(六本木)・石濱友里(日本大学櫻丘)・和泉侑莉愛(淑徳SC高等部)・板垣彩音南(稲取)・市川璃子(富士森)・一之瀬莉乃(八潮)・市之宮未来(荏田)・伊藤エミリ(生田)・伊藤緋依(元石川)・伊藤大翔(市ケ尾)・伊藤真凪(府中)・伊東美咲(日本橋)・稲垣芽生(関東第一)・稲葉歩乃佳(桜町)・井上実桜(代々木)・臼井美歩(日本大学習志野)・宇野薫(大師)・越中屋由衣(国立音楽大学附属)・大川実咲希(京華女子)・大澤莉乃(広)・太田苺亜(向丘)・大瀧心咲(細田学園)・大槌絵理(東北学院)・大野智也(東洋大学京北)・大藤美玲(立正大学付属立正)・大宮路華音(加治木)・奥田奏乃(立志舎)・長樹莉(大島)・尾関亜美(小野学園女子)・小俣音琶(藤村女子)・小見野夏希(東大和)・鍵谷実里(クラーク記念国際)・葛西心(能代松陽)・粕尾アンジェラ(富士森)・加藤彩羽(横浜)・加藤千華(浜松市立)・金指愛菜(藤沢西)・金子菜南(春日部東)・紙村杏(川崎北)・河口菜々美(平田)・木名瀬栞(明秀学園日立)・木下杏菜(平塚学園)・木村花愛(深沢)・工藤静羅(向の岡工業)・久保田未羽(アサンプション国際)・熊原和香(目黒学院)・桑野莉(荏田)・小田部心結(勝田)・児玉伸寿(千葉商科大学付属)・後藤真優(森村学園高等部)・後藤勇弥(安積黎明)・小林柚音(桜町)・小峰悠子(埼玉栄)・小安のはる(土気)・小山優(高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定)・紺野ちおり(古川黎明)・齋藤花楓(酒田光陵)・佐柄奈波(貞静学園)・佐藤菜里(上溝)・佐藤なつね(田園調布)・佐藤榛里(川崎北)・佐野ひより(東海大学付属静岡翔洋)・猿渡朋子(橘)・鹿野美緒(高津)・穴戸美采(米沢東)・清水詩(十日町)・下井由樹(多摩大学目黒)・新富萌笑(福岡舞鶴)・菅谷ころろ(生田)・杉本陽(上野原)・鈴木里緒菜(帯広緑陽)・須藤ももこ(高津)・関保奈美(鹿沼)・醍醐映那(藤沢清流)・高木惺有(安房)・高木麻央(湯本)・高田湮史(宇和島東)・谷口杏菜(船橋啓明)・谷口菜々子(高津)・知念百香(八重山)・津藤絆那(国士館)・徳永蓮美(瑞穂MSC高等学校)・長尾栞(日本工業大学駒場)・中川玲(桐朋女子)・中野里咲(元石川)・中村はな(滝川)・中村柚珠(一橋)・沼澤凜(盛岡大学附属)・根来凜音渚(秋草学園)・野島愛莉沙(大崎)・橋詰弘美(東京)・畠亜理沙(聖和学園)・原田未来(豊島学院)・樋口朝子(山陽学園圏高等部)・日隈千晴(宮崎日本大学)・平井千恵(相模原(県立))・深澤里緒(元石川)・福田はな(昭和第一学園)・福留桜希(堀越)・古町彩奈(豊科)・星野永(安城)・堀愛美(東海大学付属高輪台)・枅岡里帆(関東学院六浦)・増戸綾乃(文教大学付属)・松田佑実(高津)・間宮咲羽(岡崎城西)・三上佳純(黒石)・三谷華穂(東京純心女子)・三ツ谷美和(創価)・宮坂姫乃(杉並総合)・棟方かのか(品川エトワール女子)・村上里奈(草加)・毛利あも(小杉)・盛杏奈(芦花)・森川愛子(市ケ尾)・山内遼祐(三本木農業恵拓高等学校)・山岸詩歩(石神井)・山口万里也(鶴見)・山崎彩菜(岡谷南)・大和愛莉(大宮武蔵野)・吉田くるみ(伊那弥生ヶ丘)・吉本友里菜(駿台甲府)・良知奈々未(榛原)・龍光心春(桐陽)・渡辺愛(駒沢学園女子) (ほか13名)

※新入生一覧は氏名・出身校ともに同意した学生のみを掲載しております。

新入生一覧 大学院・専攻科

昭和医科大学大学院

令和7年度春季新入生

医学研究科 | 36名

池上篤志・石原京佳・石原里彩・和泉光晃・伊藤瑞穂・井上明音・大野俊行・大原愛央・岡田浩希・小澤準之輔・片桐順史・加藤大智・吳明洋・酒井水緒・嶋田ちさと・嶋田麻有・嶋津宏基・下島颯太・鈴木雅子・鈴木理恵・高橋憲弘・高見礼示・瀧澤美紗子・中川美星子・西林奈保・西谷秋星・原秀真・富士恵理子・美島礼佳・三宅高寛・山下智慶・吉村昌紘・渡邊麻友・渡峻太郎 (ほか2名)

歯学研究科 | 29名

赤池宏太・今松優賀・植田さゆり・大塚悠平・岡野有里・笠原昌士・片山真奈・木内彩紀・清河徳任・後藤美沙貴・薦田明憲・櫻田隼斗・渋谷有徳・菅原周・田中佑樹・田名田茅菜都・中尾朱里・中川英鈴・中原颯太・橋爪佑典・橋本はるか・橋本有希子・林遥佳・原田優・藤島美穂・三浦悠輔・村田裕紀・吉田聡真・李思遥

薬学研究科 | 13名

青木誠太郎・池田梨奈代・大田紗衣香・小俣賢吾・高橋陸・徳弘岳之・長塚大樹・中村英美璃・二村桐里・早野桃花・福島諒・藤原永登・山崎優

保健医療学研究科前期 | 15名

阿部翔太・荒井功信・伊藤夏向・加部東晶子・熊谷尚・倉富英明・小林律毅・小山祐矢・園田香・高橋勇吏・土本嵩之・永田康祐・福田佳史・松下英史・望月草矢

保健医療学研究科後期 | 5名

勝又翔太・小山峻平・昆貢広・安田耕平・山下元樹

助産学専攻科

助産学専攻科 | 14名

大橋葵・大堀綾・岡侑花・金谷園香・岸本恵里・木村愛海・熊谷風優・桑原佳鈴・古泉里奈・阪田優菜・菅野菜々美・中村美波・畑山実里・平賀詩乃

2025.3.4

8名の大学院留学生に 修了証を授与

3月4日、令和6年度大学院留学生修了証授与式及び懇親会を上條記念館で開催した。宮崎隆国際交流センター長から挨拶があった後、大学院留学生の母国の駐日大使館関係者や指導教員らが見守るなか、所定の課程を修了した8名に久光正学長より修了証が授与された。

留学生の代表として、歯科矯正学講座で学んだアンツァさん(マダガスカル)は、昭和大学での1年間の思い出と帰国後の抱負を日本語も交えて述べた。

懇親会では、駐日大使や書記官等の来賓挨拶、留学生と指導教員等によるスピーチなどを行い、留学生、本学教育職員、及び



1 記念撮影 2 修了証授与 3 懇親会の様子

大使館関係者が親交を深めた。

本学での研修を修了した8名は母国へ帰国し、母国の教育施設などにおいてそれぞれ教育や研究あるいは診療に従事する。

昭和大学は今後も積極的に留学生を受け入れ、国際交流活動に活発に取り組んでいく。

2025.1.15

人体を透過して光る手術用ガーゼを開発 ガーゼの遺残防止や内視鏡手術の視覚ガイドとして利用可能

昭和大学医学部外科学講座消化器一般外科学部門の青木武士主任教授、田代良彦講師（同）、東京科学大学 物質理工学院 応用化学系の安藤慎治教授、京都工芸繊維大学繊維学系の安永秀計准教授らの研究チームは、医療現場で広く使用されている近赤外発光色素であるインドシアニングリーン（ICG）を用いた体内手術用の「人体組織を透過して光る手術用ガーゼ」を開発した。このガーゼは、ロボット手術や腹腔鏡手術に標準装備されつつある「蛍光イメージングシステム」（FIS）を用いて、内臓組織を透過して明瞭に観察できることから、手術後のガーゼ遺残を防ぐだけでなく、手術の進行をガイドする目的での利用が可能。

「光る手術用ガーゼ」は、通常の綿ガーゼと異なり、厚さ10mm程度であれば、体内組織の裏側にあっても、その位置を実時間（リアルタイム）で確認することが可能（図1）。すでに昭和大学倫理委員会の認可を得て、試験的な臨床応用が始まっており、これまで蛍光ガーゼを使用した腹腔鏡・ロボット支援手術14症例のうち7症例において、白色光下よりもFIS撮像下でより迅速にガーゼが検出されたことから、手術中に解剖部位を特定するための正確なマーカーとなり得る。また、すべての手術でガーゼからのICG漏洩は観察されなかった。このガーゼの作製には、人体使用が認められている素材のみを用いており、さらに手術用スポンジや透明チューブなど様々な医療用器具にも適用可能。

光る手術用ガーゼの使用により、安全で正確な外科手術が提供されるだけでなく、手術の進行が視覚的にガイドでき、かつ術後にガーゼを探す手間や時間の短縮とX線造影糸包含ガーゼで

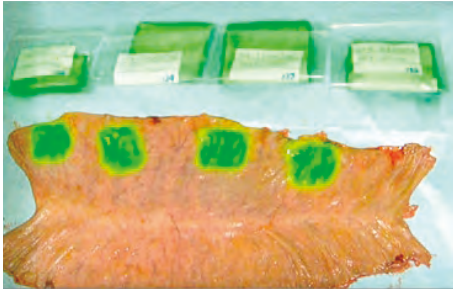


図1 小腸を透過して近赤外発光するICGガーゼ

必要となる放射線被曝が軽減される可能性がある。

本研究成果は、1月15日付の「Langenbeck's Archives of Surgery」に掲載された。

用語解説／

- ※1 インドシアニングリーン（ICG）：ヒトで唯一使用が認められている近赤外発光色素で、生体毒性が低く、波長780 nmの励起により820 nmの近赤外線蛍光を発する。ICGは血漿タンパク質と強く結合するため血管内に留まり、肝臓で速やかに代謝され排泄されるため、外科手術で広く利用されている。
- ※2 蛍光イメージング：細胞や身体の組織などをICGのような蛍光発光性色素で標識し、細胞や組織を生きたままリアルタイムで観察する手法。

研究のポイント／

- 人体組織を透過して明るく光り、堅牢性も高い「手術用ガーゼ」を新規開発。
- 綿ガーゼを蛍光色素の水溶液に浸漬し、オートクレーブにより蒸熱処理することで達成。
- 手術用ガーゼの遺残防止や内視鏡手術のガイドとして有効利用が可能。

関連リンク／東京科学大学プレスリリース <https://www.isct.ac.jp/ja/news/6xnv2bw5bvcn>

昭和医科大学至誠塾 令和7年度入塾生・在塾生紹介

至誠塾は平成21（2009）年度以来、将来の昭和医科大学を支える人を育て、支援することを目的に設立され、多くの方が巣立っていきました。

令和4年度より学校法人昭和医科大学の中長期計画等の実行案の策定を課題にして活発に討議を重ねてきました。

令和7年度はビギナーコースで法人運営の基礎を学び、アドバンストコースでは法人運営改革の検討を行います。



塾長 小口勝司（理事長）

副塾長 久光正（学長）・上條由美（副理事長）・小川良雄（総括総務担当理事）・小出良平（総括病院担当理事）・田口彰彦（事務局長）

特別講師 片桐敬（名誉学長）・鈴木久義（保健医療学部長）・中村明弘（鷺沼キャンパス準備室長）・三邊武幸（スポーツ運動科学研究所長）・小林真一（臨床薬理研究所長）・小口江美子（上條記念ミュージアム館長）・下司映一（IR室長・横浜看護専門学校準備室長）・角田卓也（特任教授）・三邊武彦（統括研究推進センター長）・上野洋一（理事長室付相談役（病院建設・運営担当））・小川秀樹（横浜市北部病院事務部長）

ファリシテータ 小口達敬（医学部薬理学講座医科薬理学部門 教授）・宇高結子（医学部薬理学講座医科薬理学部門 講師）・間部亮仁（総務部企画課キャンパス将来計画準備担当 課長、鷺沼キャンパス準備室事務課 事務長）・松平真悟（医学部衛生学公衆衛生学講座病院保険診療管理学部門 准教授）・田邊聡（昭和医科大学病院医事入院課 課長）・的場匡亮（経営戦略企画室長）・村岡真輔（昭和医科大学病院医事外来課 係長）・肥田典子（薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門 教授(員外)）・仲保徹（保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻 教授(員外)）・森本照美（学事部長津田校舎事務課 事務長）

ビギナーコース至誠塾生 釋尾知春（医学部麻酔科学講座 講師）・川西邦夫（医学部解剖学講座顕微解剖学部門 教授）・大場誠悟（歯学部口腔外科学講座顎顔面口腔外科学部門 教授）・藤村真理（昭和医科大学病院臨床検査室臨床検査部門輸血検査室 技術主事）・鶴井敏光（医学研究科医学専攻医科薬理学分野 大学院生）・土田裕之（鷺沼キャンパス準備室事務課 係長）・三澤将史（医学部内科学講座消化器内科学部門 講師）・大熊遼太郎（医学部内科学講座腫瘍内科学部門 講師）・村瀬礼美（薬学部臨床薬学講座がんゲノム医療薬学部門 講師）・鳥居一喜（横浜市北部病院臨床工学

室 係長）・大戸祐治（薬学部病院薬剤学講座病院薬剤学部門 講師）・小玉智美（統括研究推進センター事務室研究推進課 係長）・田代良彦（医学部外科学講座消化器一般外科学部門 講師）・宮本真豪（医学部産婦人科学講座 講師）・増田陸雄（歯学部全身管理歯科学講座歯科麻酔学部門 教授）・青木啓一郎（保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻 講師）・吉田真也（昭和医科大学病院放射線技術部 係長）・山崎喜貴（薬学部基礎医療薬学講座毒物学部門 助教）

アドバンストコース至誠塾生 宮崎拓郎（医学部生化学講座 准教授）・福村基徳（薬学部薬学教育学講座 准教授）・森雄作（医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 准教授）・村井聡（医学部臨床病理診断学講座 助教）・石川文博（遺伝子組換え実験室 准教授）・岩瀬万里子（統括研究推進センター 講師）・小原信（医学部内科学講座糖尿病・代謝・内分泌内科学部門 准教授）・古屋貫治（スポーツ運動科学研究所 講師）・馬場勇太（医学部内科学講座血液内科学部門 助教）・豊崎英士（臨床薬理研究所 助教）・山口麻子（歯学部全身管理歯科学講座医科歯科連携診療歯科学部門 講師）・丸田一人（医学部外科学講座心臓血管外科学部門 講師）・上條翔太郎（薬学部基礎医療薬学講座生理学部門 講師）・村上幸三（医学部放射線医学講座放射線科学部門 准教授）・久保田祐太郎（医学部内科学講座腫瘍内科学部門 准教授）・小島康幸（臨床ゲノム研究所 准教授）・下村直史（歯学部小児成育歯科学講座 助教）・松本政輝（医学部脳神経外科学講座 講師）・氷室直哉（医学部外科学講座呼吸器外科学部門 講師）・鈴木慎太郎（医学部医学教育学講座 准教授）・龍家主（統括研究推進センター 准教授）・諸星北人（医学部衛生学公衆衛生学講座衛生学公衆衛生学部門 講師）・内海明美（歯学部口腔衛生学講座 講師）・吉川輝（保健医療学部保健医療学教育学 講師）・イズデプスキ龍也（医学部産婦人科学講座 助教）

令和6年度 寄贈図書

寄贈者	資料
田中 大介	小児科医が伝えたい起立性調節障害症状と治療（徳間書店）他
大崎 千恵子 田中 晶子	患者さんとの接し方（Maruzen audiovisual library. 看護学生してはいけないケースファイル：臨地実習禁忌集：第1巻）（丸善出版）他
笠井 史人	実践クリティカルケアリハビリテーション（中外医学社）

寄贈者	資料
新見 道夫	元気で長生きのための健康増進科学論 改訂2版（ふくろう出版）
中谷 一泰	日本人発見の不思議たんぱく（西村書店）
和田 真一	M-GTA修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ（誠信書房）

ご寄贈いただき、誠にありがとうございました。

特別協定校で 出張講義・体験授業を実施

本学の特別協定校である昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校と森村学園高等部の生徒・保護者を対象に、医学部・薬学部
の教育職員が出張講義・体験授業を実施した。

生徒向けの講義では、各回ともに、最初のうちは緊張しつつも、講義が進むにつれ、積極的な姿勢がみられ、最後まで熱心に講義に取り組んでいた。保護者向けでは、教育職員の話に興味深く聞き入っていた。

■昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校（生徒向け）

1月23日(木)土屋静馬教授（国際交流センター）

2月18日(火)川添和義教授（薬学部臨床薬学講座天然医薬治療学部門）、小池佑果講師（同）、伊藤ほのか助教（同）

2月18日(火)肥田典子教授（薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門）、滝伊織講師（同）、三邊武彦センター長（統括研究推進センター）

2月25日(火)肥田典子教授（薬学部臨床薬学講座臨床研究開発学部門）、竹ノ下祥子講師（臨床薬理研究所）

■森村学園高等部（保護者向け）

3月6日(木)富岡大准教授（医学部精神医学講座（横浜市北部病院精神神経科））



1 昭和女子大学附属昭和中学校・高等学校での授業の様子 2 森村学園高等部での講演の様子

今後も本学と両校は様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。

開催日と担当教育職員は下記のとおり。

中高生へ「いのちの授業」出張講義

2月19日、本学の包括連携協定校である世田谷学園の中学1年生から高校2年生を対象に、土屋静馬教授（国際交流センター）がSETA学会※¹の基調講演として「いのちの授業」の出張講義を実施した。

土屋教授は、自身の経験に基づくお話や、映像・音声を取り入れた講義を行い、いのちや人生の意味について深く考える機会を提供した。

生徒たちは熱心に講義を聴き、「自分の体験を振り返る力を身に付けること」、そして「人生の意味を深く考えること」について学びを深めた。

今後も両校は様々な相互交流を通じて、高大連携を強めていく。



1 2 講義の様子

用語解説

※¹ SETA学会：文化部の発表や講演、個人での研究活動を報告しあう世田谷学園内の全学年合同イベント。SETA (Science Engineering Technology Art) 学会。

湘南白百合学園中学・高等学校、茨城高等学校・中学校と 包括連携協定を締結

■湘南白百合学園中学・高等学校

2月21日、昭和大学は湘南白百合学園中学・高等学校と包括連携協定を締結した。本学から中村明弘薬学部長、石野敬子薬学部教授が湘南白百合学園中学・高等学校を訪問し、湘南白百合学園中学・高等学校 岩瀬有子校長により協定書へ署名され、包括連携協定が締結された。

■茨城高等学校・中学校

3月6日、昭和大学は茨城高等学校・中学校（茨城県水戸市）と包括連携協定を締結した。本学から中村明弘薬学部長、川添和義薬学部教授が茨城高等学校・中学校を訪問し、茨城高等学校・

1 記念撮影（湘南白百合学園中学・高等学校） 2 記念撮影（茨城高等学校・中学校）



中学校 梶克治校長により協定書へ署名され、包括連携協定が締結された。

本協定では、両校は教育・地域貢献等の各面にわたって広く協力し、交流を深めることにより、教育内容の充実と学生及び生徒の資質向上を図ることを目的としており、今回の包括連携協定を契機に人事交流をはじめとする高大連携に向けてより密接な連携を図っていく。

第1回 IC²NEMOで最優秀演題賞

妊娠中のリウマチ罹患が神経発達障害を誘因

中野僚太助教（薬学部基礎医療薬学講座生理学部門）が第1回 IC²NEMO（1月28日～31日：長野県野沢温泉朝日屋旅館）において、演題名「妊娠期関節炎罹患は次世代の神経発達障害を誘導する」で最優秀演題賞を受賞した。

【中野僚太助教のコメント】

この度、第1回 IC²NEMO (International Conference on Immunity and Cognition: integration of multidisciplinary approaches in Neuroscience, Endocrinology, Metabolic biology and Osteoimmunology) で最優秀演題賞を受賞することができました。

これまで関節リウマチに罹患した母親から生まれた児に神経発達障害の有病率が高いことが報告されてきましたが、そのメカニズムは不明でした。本研究では、関節炎モデルマウスを用いて次世代に神経発達障害を誘導するメカニズムを胎盤機能に着目し、検討しました。その結果、関節炎モデルマウスの胎盤で発現が増加した分泌タンパク質の中から胎児移行性を有し、神経発達に影響する可能性のある因子を同定しました。今後は、本研究で同定

した因子の胎児脳への影響を詳細に解析し、次世代の神経発達障害の予防法開発へと研究を発展させたいと考えております。

最後になりましたが、本研究の遂行にあたり、ご指導ご鞭撻を賜りました先生方にこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

関連リンク／第1回 IC²NEMO <https://sites.google.com/view/osteoimmunology-winter9>



中野僚太助教(薬学部基礎医療薬学講座生理学部門)

ラットの変形性足関節症モデル構築で拓く治療の未来 米国整形外科基礎学会にて受賞 アワードファイナリスト選出

上條翔太郎講師（薬学部基礎医療薬学講座生理学部門）が、ORS (Orthopaedic Research Society) 2025 Annual Meeting (2025年2月7日～11日：アメリカ合衆国 フェニックス)において、演題名「ラットにおける外傷後変形性足関節症モデルの確立と関連疼痛の評価」でthe 2025 ORS/OREF Travel Grant in Orthopaedic Research Translationを受賞した。また同演題でNew Investigator Recognition Award (NIRA) finalistに選出された。

【上條翔太郎講師のコメント】

この度、ORS (Orthopaedic Research Society) 2025 Annual Meetingでthe 2025 ORS/OREF Travel Grant in Orthopaedic Research Translationを受賞いたしました。また同学会でNew Investigator Recognition Award (NIRA) finalistに選出されました。

変形性関節症の基礎的な研究は主に膝関節が用いられています。しかし、足関節は膝関節と比較して軟骨の厚さが薄いにも関わらず、変形性関節症の発症頻度が低いことが報告されています。そこで、変形性足関節症の更なる研究のために変形性足関節症動物モデルが必要と考えました。本変形性足関節症モデルはラットを用いて、足関節捻挫で損傷されやすい靱帯を損傷させ

ることで作成されました。さらに変形性足関節症の主症状である痛みを評価いたしました。

本ラット変形性足関節症モデルにより変形性足関節症の更なる研究が進み、治療が発展することが期待されます。

最後になりましたが、本研究は米国Pittsburgh大学で行っております。研究と留学を支えて下さった昭和大学の皆さま、関係各位、家族にこの場をお借りして御礼申し上げます。ありがとうございました。

関連リンク／The 2025 ORS/OREF Travel Grant in Orthopaedic Research Translation, New Investigator Recognition Award (NIRA) finalist <https://www.ors.org/2025annualmeeting/>



上條翔太郎講師(薬学部基礎医療薬学講座生理学部門)

警視庁から感謝状

名 称	感謝状
概 要	薬物使用連続殺人事件における死因究明と殺意立証などを通じた協力で、捜査に貢献
授与者	沼澤聡教授(薬学部基礎医療薬学講座毒物学部門)



感謝状の贈呈
(左：沼澤聡教授)

日本化学療法学会
東日本支部支部長賞

演 題 名	「障害調整生存年 (DALYs) を用いた黄色ブドウ球菌による血流感染症の疾病負荷の推定」
受 賞 者	山口梢助教 (薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門)
日 程 : 場 所	2024年10月17日～19日:東京ドームホテル



(左から) 前田真之准教授(薬学部臨床薬学講座感染制御薬学部門)、山口梢助教(同)、時松一成教授(医学部内科学講座臨床感染症学部門)

卒業生・修了生各賞受賞者 (氏名はすべて左から)



昭和大学卒業式 上條賞
医学部 金浜 七海
歯学部 早川 優菜
薬学部 進藤 磨衣子
保健医療学部作業療法学科 小口 舞子



昭和大学卒業式
医学部同窓会賞
須澤 律
高橋 憲弘
ほか1名



昭和大学卒業式
歯学部同窓会賞
伊藤 優馬
中野 裕太
中村 英里



昭和大学卒業式
薬学部同窓会賞
青木 誠太郎
飯島 竜平
堀野 心



昭和大学卒業式
保健医療学部同窓会賞
看護学科 林 穂乃花
理学療法学科 櫻井 玲邑那
作業療法学科 宮崎 汐音



昭和大学卒業式 上條旗ヶ岡賞
医学部 佐藤 貴文
医学部 伊藤 瑞穂
歯学部 村崎 智仁
薬学部 坂野 李々夏
薬学部 福島 諒
保健医療学部看護学科 藤波 ひな
保健医療学部理学療法学科 北村 愛理



昭和大学卒業式
最優秀チューデント・インストラクター賞
歯学部 桐谷 七彩
薬学部 富塚 稚菜
保健医療学部理学療法学科 宇高 萌



医学部附属看護専門学校
卒業式
石井満賞 東海林 らら
鈴木モヨ賞 大浦 綾音
昭桜會賞 神保 夢乃



昭和大学大学院修了式
上條賞
医学研究科 野口 雅仁
歯学研究科 池端 陽介
薬学研究科 船山 英治
保健医療学研究科 藤井 智希



学外表彰
国際歯科学士会アワード授与
歯学研究科 澁坂 和太

SMBCグループ

ご存じですか?
スマホの口座
Olive
Fit For Your Cashless Living.

三井住友銀行

Follow Showa

X (旧Twitter)

Instagram

SHOWAUNIV.PRESS

昭和医科大学広報担当では日々のお知らせや大学キャンパス、各附属病院のイベント情報などをX(旧Twitter)、Instagramで発信中です。凛々しく研鑽に励む学生・職員の皆さんの姿や四季折々のキャンパス風景など、明るく元気にお伝えしていきますので、ぜひ昭和医科大学の「いいね!」な出来事を一緒にお楽しみください。

なんでもご相談下さい。

医学堂書店

有限会社 医学堂書店

〒142-0064 東京都品川区旗の台1-11-9
TEL 03-3783-9774 FAX 03-3783-3156
Email igakudo@peridot.bforth.com

日本調剤

全国に広がる、日本調剤のネットワーク。

日本調剤株式会社(本社:東京都千代田区丸の内、東証プライム市場上場)は、全国47都道府県で700以上の調剤薬局を展開している企業です。

学生生活を振り返って

共に歩んだ仲間と 充実した日々



試行錯誤の6年間

医学部 伊藤瑞穂

6年間を振り返ると、順風満帆とはいかず、試行錯誤の連続でした。寮生活や実習での患者さんとの向き合い方、研究活動など思うようにいかない日々もありましたが、その度に学びを深め、成長できたと実感しています。また、国内外への旅行もかけがえのない思い出です。異文化に触れ、自身の視野が広がりました。計画された学びだけでなく、偶然の出会いや体験から得るものも大きいと痛感しました。

社会科学部では、社会学や哲学の書物を読み解き、討論を重ねました。意見が衝突することもありましたが、徹底的に対話

することで、かけがえのない信頼関係を築くことができました。医学は、人との繋がりや多分野との連携が不可欠です。部活動での経験は、医師として歩む上で大きな糧になると確信しています。

最後に、いつも支えてくれた家族、苦楽を共にした友人、そして、温かく見守ってくださった先生方に心より感謝申し上げます。



卒業生としての誇りを胸に

歯学部 村寄智仁

富士吉田での寮生活に始まった6年間は、実に濃密で、時の流れを忘れさせるほどでした。寮では、他者との交流に加え、医療人として不可欠な多角的視点やチーム医療の重要性を体得しました。これは、昭和大学ならではの教育だと、卒業した今も強く感じています。

2年次からは旗の台キャンパスへ移り、新型コロナウイルス感染症が蔓延する中、「今、我々に何ができるのか」を自問自答する貴重な機会を得ました。行動が制限される中での勉学、実習、部活動の両立は困難を極めました。それ以上に、普段の生活では得られないやりがいや仲間との絆を深めることができました。

コロナ禍においても熱心にご指導くださった先生方には、感謝の念が堪えません。昭和大学卒業生としての誇りを胸に、医療人として大きく羽ばたいていきたいと思います。



一生の宝物

薬学部 坂野李々夏

私の大学生活は、人生で最も有意義な時間でした。寮生活、学業、部活動と、全てが充実した日々でした。寮生活では、友人たちと朝から晩まで語り合い、休日には遠出をするなど、毎日が修学旅行のようでした。学業も、友人たちを目標に自分自身の学習ペースを確立しました。ここで得た友人たちは、一生の宝物です。

特に、馬術部での経験は、私の大学生活を彩り豊かにしてくれました。幼い頃からの憧れだった馬術は、想像以上に困難でしたが、日々努力を重ね、多くの大会で実績を残せました。学年が上がるにつれ責任も増しましたが、後輩への指導は自身の学びにも

繋がりました。

大学生活は、選択と努力次第で大きく変化します。後輩たちが、自らの選択と努力で、より良い方向へ進むことを心から願っています。最後に、6年間関わってくださった全ての方々に、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



喜怒哀楽に満ちた濃密な時間

保健医療学部看護学科 志田英里佳

昭和大学での4年間は長かったようであるという間でした。その中で喜怒哀楽に満ちた濃密な時間を過ごし、人として大きく成長できたと感じます。

1年次は、入寮期間が短縮されるなど制限も多く、想像していた大学生活とは異なるものでしたが、寮祭や共同生活を通して多くの人と関わり、自身の価値観や視野を広げることができました。2年次以降は、オンライン授業による孤独感を味わったり、実習では患者さんの特性を踏まえた関わり方や看護の優先順位を考えることに悩みました。しかしながら、寮生活や実習を通して多くの仲

間ができたからこそ、互いに励まし、刺激し、協力し合って乗り越えることができました。

今の自分があるのは、先生、職員の方々、家族、先輩、友人など多くの方に支えられてきたおかげです。関わって下さった皆様に深く感謝申し上げます。今後は昭和大学で学び、得た知識や能力を活かし、社会に貢献できるよう努力していきたいと思います。



多くの思い出が詰まった4年間

保健医療学部理学療法学科 山平愛美

昭和大学での学生生活はあっという間の4年間でしたが、多くの思い出が詰まった充実した4年間でした。初年次の寮生活では、コロナ禍ということもあり、生活に制限がかかっていましたが、だからこそ、より一層同部屋のメンバーと絆を深めることができました。また、講義やサークルで他学部との関わりも多くあり、昭和大学の強みであるチーム医療を実践することができました。

2年次からは横浜キャンパスに移り、同じ夢を目指す仲間と専門分野を学ぶ機会が増えました。臨床実習や卒業研究、国家試験

を学生一丸となって乗り越えたり、緑風祭などのイベントを全力で盛り上げたり、苦楽を共にしたメンバーは一生のかけがえのない友人となりました。

この4年間で支えてくださった、先生方や先輩方、友人、家族にはとても感謝しています。卒業してもこの4年間でできた仲間たちと協力しながら、お世話になった方々へ成長した姿を見せて、少しずつ恩返ししていきたいと思います。



大学生活4年間で得たもの

保健医療学部作業療法学科 小澤史歩

入学してから4年が経ち、一瞬に過ぎ去った日々を友人たちと思い出することが多くなりました。新型コロナウイルスによって外出の制限がされた中での寮生活や、対面授業とオンライン授業が併用されたカリキュラムの中で、同じ夢を目指す仲間との生活など、多くの出来事が思い出されます。

4年間の中でも一番の思い出は寮生活であったと思います。寮生活によって様々な学部の人と生活することによって、たくさんの経験を得ることができました。そして、寮生活が終わった後も途切れることなく、一年に一度、同じ階で過ごした大勢の仲間が集まっ

たり、個別でも分からないことがあれば連絡を取り、会って教えあったりすることもありました。学部連携実習などからそれぞれの専門性について、多くの違いを実感していたからこそ助け合って過ごすことができたと感じています。

今後も友人たちを大事にしながら、昭和大学で学んだことを活かしていきたいと思っています。



仲間と共に歩み支えあった3年間

医学部附属看護専門学校 尾崎菜々美

この3年間を振り返ると、新型コロナウイルスの影響が続き、オンライン授業中心の生活や慣れない環境の中、勉強や課題に取り組む日々を送りました。更に、親元を離れた生活が始まり、学業だけでなく、日常生活の中でも困難に直面することが多くありました。しかし、そんな時に、悩みや不安を共有し、支えてくれたのは友人でした。コロナの影響が長く続いた環境の中でも、友人の支えがあったからこそ、数々の課題を乗り越え、大きく成長できたと思います。特に、オンライン授業では、学ぶことの難しさや自分自身を鼓舞し続けることの大変さを痛感しました。しかし、その経験があったからこそ、臨床実習で様々な困

難に直面し、挫けそうになった時も、培った自己管理能力や気持ちの切り替えを活かし、乗り越えることができました。

これから先、看護師として新たな生活が始まりますが、仲間とともに歩み支えあった3年間の経験を糧にし、努力を惜しまず前へ進んでいきたいと思っています。そして昭和大学で出会った全ての方々に感謝申し上げます。



学内会議報告

就任の挨拶

薬学部長 原 俊太郎

本年4月1日より薬学部長を拝命致しました。私は2005年7月に薬学部衛生化学教室の助教授として採用された後、2009年3月に同教室の教授に昇任し、2012年4月からは薬学部社会健康薬学講座の講座責任者ならびに同講座衛生薬学部門の教授を務めております。教授昇任後は、薬学部教育委員長を9年、学生部長を2年させていただきました。この間、薬学部進級・卒業制度、進級基準に関する検討（2016年度）および検証（2018年度）の2回の大学活性化推進プロジェクトにも加わり、薬剤師国家試験の合格率の向上に関わることができました。私たち薬学部は「患者を知り、患者から学び、患者に貢献する シン・臨床薬剤師の育成」のスローガンをかけ、中村明弘前学部長の強力なリーダーシップのもと、日本一の薬学部作りを進めてきました。薬学教育モデル・コア・カリキュラムの改訂に伴い、本年からは2年次のカリキュラムを大幅に変更します。薬学部を大きく前進させた中村先生の後を継ぐことには些かの不安を感じておりますが、更に高みを目指し学部運営をして参りますので、皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



就任の挨拶

富士吉田教育部長 小川良雄

本年4月1日より富士吉田教育部長を拝命いたしました。私は1975年4月に昭和大学に入学したので、50年ぶりの富士吉田キャンパスでの生活です。新入生と同様の喜びと緊張感を抱いております。富士吉田キャンパスの全寮制教育は昭和医科大学の建学の精神である「至誠一貫」すなわち「国民の健康に親身になって尽くせる医療人を育成する」ための出発点であり、最も重要な基盤です。教養科目、基礎科目さらに専門科目を学びますが、さらに本学の特長であるチーム医療教育の基盤として、学部混合のPBLチュートリアル（問題解決型学習）、施設実習、病院実習で医療の現場を体験してもらいます。そして最も大切なのは、4学部の学生が一緒に部屋で生活を共にすることであり、日々の交流を通じて互いを思いやる心を育んでいくことです。雄大な富士山のもとで清々しい空気と清冽な水に恵まれたこの環境で学生とともに学んでいく所存です。皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。



就任のお知らせ（2月18日 理事会承認）

特任教授



本田 一穂

医学部解剖学講座
顕微解剖学部門担当 教授
任期：令和7年4月1日
～令和8年3月31日
理由：医学部臨床病理診断学の
教育・研究・診療のため

医学部脳神経外科学講座担当 教授
〔勤務地：昭和医科大学病院脳神経外科〕
昭和医科大学病院脳神経外科診療科長



諸藤 陽一

長崎大学病院脳神経外科 准教授
任命日：令和7年4月1日

医学部集中治療医学講座担当 教授
〔勤務地：昭和医科大学病院集中治療科〕
昭和医科大学病院集中治療科診療科長



阿部 智一

医学部集中治療医学講座担当
准教授
〔勤務地：昭和大学病院集中治療科〕
任命日：令和7年4月1日

医学部救急・災害医学講座担当 教授
〔勤務地：昭和医科大学藤が丘病院救命救急科〕
昭和医科大学藤が丘病院救命救急科診療科長



宮本 和幸

医学部救急・災害医学講座担当
准教授
〔勤務地：昭和大学藤が丘病院救命救急科〕
任命日：令和7年4月1日

医学部内科学講座（呼吸器アレルギー内科学部門）
担当 教授（員外）
〔勤務地：昭和医科大学藤が丘病院呼吸器センター（呼吸器内科）〕



横江 琢也

医学部内科学講座（呼吸器アレルギー内科学部門）担当 准教授
〔勤務地：昭和大学藤が丘病院呼吸器センター（呼吸器内科）〕
任命日：令和7年4月1日

医学部外科学講座（消化器一般外科学部門）
担当 教授（員外）
〔勤務地：昭和医科大学病院腎移植センター〕



吉武 理

医学部外科学講座（消化器一般外科学部門）担当 准教授
〔勤務地：昭和大学病院腎移植センター〕
任命日：令和7年4月1日

医学部脳神経外科学講座担当 教授（員外）
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（脳神経外科）〕
昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター
脳神経外科診療科長



和田 晃

医学部脳神経外科学講座担当
准教授
〔勤務地：昭和大学横浜市北部病院外科系診療センター（脳神経外科）〕
任命日：令和7年2月18日

歯学部口腔外科学講座
（顎顔面口腔外科学部門）担当 教授
昭和医科大学歯科病院顎顔面口腔外科診療科長



大場 誠悟

歯学部口腔外科学講座（顎顔面口腔外科学部門）担当 准教授
任命日：令和7年4月1日

薬学部基礎医療薬学講座
（製剤設計学部門）担当 教授



勝見 英正

大阪大谷大学薬学部薬剤学講座
教授
任命日：令和7年4月1日

薬学部基礎医療薬学講座
（薬物動態学部門）担当 教授



杉山 恵理花

薬学部基礎医療薬学講座（薬物動態学部門）担当 准教授
任命日：令和7年4月1日

保健医療学部リハビリテーション学科
作業療法学専攻（主担当科目：統合医療学）教授



副島 賢和

保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（主担当科目：統合医療学）准教授
任命日：令和7年4月1日

保健医療学部リハビリテーション学科
作業療法学専攻（主担当科目：形態機能学）教授



飯塚 眞喜人

医学部生理学講座（生体調節機能学部門）担当 准教授
任命日：令和7年4月1日

保健医療学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻（主担当科目：医療マネジメント）教授（員外）



的場 匡亮

保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻（主担当科目：医療マネジメント学）准教授
任命日：令和7年4月1日

保健医療学部リハビリテーション学科
理学療法学専攻（主担当科目：理学療法学）教授（員外）



仲保 徹

保健医療学部リハビリテーション学科理学療法学専攻（主担当科目：理学療法学）准教授
任命日：令和7年4月1日

保健医療学部リハビリテーション学科
作業療法学専攻（主担当科目：作業療法学）教授（員外）



三橋 幸聖

保健医療学部リハビリテーション学科作業療法学専攻（主担当科目：作業療法学）准教授
任命日：令和7年4月1日

富士吉田教育部（担当：倫理学）教授



齋藤 範

富士吉田教育部（担当：倫理学）
准教授
任命日：令和7年2月18日

富士吉田教育部（担当：教育推進室）教授（員外）



前田 昌子

富士吉田教育部
（担当：教育推進室）准教授
任命日：令和7年2月18日

富士吉田教育部（担当：物理学）教授（員外）



本多 英彦

富士吉田教育部
（担当：物理学）准教授
任命日：令和7年2月18日

昭和医科大学附属看護専門学校長（再任）
木内 祐二

現：昭和大学医学部附属看護専門学校長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学歯学部長（再任）

馬場 一美

現：昭和大学歯学部長
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

昭和医科大学大学院歯学研究科長（再任）

高見 正道

現：昭和大学大学院歯学研究科長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学薬学部長



原 俊太郎

薬学部社会健康薬学講座
(衛生薬学部門) 担当 教授
任期：令和7年4月1日～
令和9年3月31日

昭和医科大学大学院薬学研究科長(再任)

野部 浩司

現：昭和医科大学大学院薬学研究科長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学保健医療学部長(再任)

鈴木 久義

現：昭和医科大学保健医療学部長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学大学院保健医療学研究科長(再任)

三村 洋美

現：昭和医科大学大学院保健医療学研究科長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学富士吉田教育部長



小川 良雄

昭和大学副学長
任期：令和7年4月1日～
令和10年3月31日

昭和医科大学藤が丘病院長



鈴木 洋

現：昭和医科大学藤が丘病院 副院長
任期：令和7年4月1日～
令和10年3月31日

昭和医科大学
藤が丘リハビリテーション病院長(再任)

市川 博雄

現：昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学鳥山病院長(再任)

真田 建史

現：昭和医科大学附属鳥山病院長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学歯科病院長(再任)

槇 宏太郎

現：昭和医科大学歯科病院長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学上條記念館長(再任)

小出 良平

現：昭和医科大学上條記念館長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学上條記念ミュージアム館長(再任)

小口 江美子

現：昭和医科大学上條記念ミュージアム館長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学スポーツ運動科学研究所長(再任)

三邊 武幸

現：昭和医科大学スポーツ運動科学研究所長
任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

昭和医科大学
富士山麓自然・生物研究所長(再任)

平井 康昭

現：昭和医科大学富士山麓自然・生物研究所長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学臨床ゲノム研究所長(再任)

中村 清吾

現：昭和医科大学臨床ゲノム研究所長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学
メディカルデザイン研究所長(再任)

安次富 隆

現：昭和医科大学メディカルデザイン研究所長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学
細胞外マトリックス研究所長(再任)

宮崎 章

現：昭和医科大学細胞外マトリックス研究所長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学電子顕微鏡室長



高木 孝士

昭和医科大学電子顕微鏡室 教授
任期：令和7年4月1日～
令和10年3月31日

昭和医科大学動物実験施設長(再任)

泉崎 雅彦

現：昭和医科大学動物実験施設長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学分子分析センター長(再任)

加藤 大

現：昭和医科大学分子分析センター長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学臨床医学共同研究室長(再任)

相良 博典

現：昭和医科大学病院長
任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

昭和医科大学薬理科学研究センター長



野部 浩司

薬学部基礎医療薬学講座
(薬理学部門) 担当 教授
任期：令和7年4月1日～
令和10年3月31日

昭和医科大学医師臨床研修センター長(再任)

矢嶋 宣幸

現：昭和医科大学医師臨床研修センター長
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

昭和医科大学統括教育推進室長(再任)

久光 正

現：昭和医科大学統括教育推進室長
任期：令和7年4月1日～
令和7年5月23日開催の定時評議員会終結の時

昭和医科大学国際交流センター長(再任)

宮崎 隆

現：昭和医科大学国際交流センター長
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

昭和医科大学統括研究推進センター長(再任)

三邊 武彦

現：昭和医科大学統括研究推進センター長
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

昭和医科大学キャリア支援室長(再任)

中西 孝子

現：昭和医科大学キャリア支援室長
任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

昭和医科大学統括保険診療管理室長(再任)

澁澤 三喜

現：昭和医科大学統括保険診療管理室長
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

昭和医科大学IR室長(再任)

下司 映一

現：昭和医科大学IR室長
任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

昭和医科大学産学官連携室長(再任)

三邊 武彦

現：昭和医科大学産学官連携室長
任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

昭和医科大学
看護キャリア開発・研究センター長(再任)

増田 千鶴子

現：昭和医科大学看護キャリア開発・研究センター長
任期：令和7年4月1日～令和8年3月31日

昭和医科大学
認定看護師教育センター長(再任)

三村 洋美

現：昭和医科大学認定看護師教育センター長
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

昭和医科大学病態分子生化学
研究センター長



久光 正

現：昭和医科大学学長
任期：令和7年4月1日～
令和7年5月23日開催の
定時評議員会終結の時

昭和医科大学病院腫瘍内科診療科長



堀池 篤

医学部内科学講座
(腫瘍内科学部門) 担当 准教授
[勤務地：昭和医科大学病院腫瘍内科]
任命日：令和7年4月1日

昭和医科大学病院小児循環器内科診療科長



藤井 隆成

医学部小児科学講座(小児循環器内科学部門) 担当 教授(員外)
[勤務地：昭和医科大学病院小児循環器内科]
任命日：令和7年2月18日

昭和医科大学江東豊洲病院
内科系診療センター放射線診断科診療科長



清野 哲孝

医学部放射線医学講座
(放射線科学部門) 担当 教授
[勤務地：昭和医科大学江東豊洲病院内科系診療センター(放射線診断科)]
任命日：令和7年4月1日

昭和医科大学江東豊洲病院
外科系診療センター麻酔科診療科長



大塚 直樹

医学部麻酔科学講座担当 准教授
[勤務地：昭和医科大学江東豊洲病院外科系診療センター(麻酔科)]
任命日：令和7年4月1日

昭和医科大学富士吉田自然教育園長(再任)

平井 康昭

現：昭和医科大学富士吉田自然教育園長
任期：令和7年4月1日～令和10年3月31日

昭和医科大学口唇口蓋裂センター長(再任)

門松 香一

現：昭和医科大学口唇口蓋裂センター長
任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

就任のお知らせ(3月11日 理事会承認)

昭和医科大学副学長(再任)

宮崎 隆

現：昭和医科大学副学長 国際交流・共同研究施設・入学者選抜検証担当
任期：令和7年4月1日～令和7年5月23日開催の評議員会終結の時

昭和医科大学副学長(再任)

木内 祐二

現：昭和医科大学副学長 地域連携・大学間等連携担当
任期：令和7年4月1日～令和7年5月23日開催の評議員会終結の時

昭和医科大学副学長(再任)

小川 良雄

現：昭和医科大学副学長 産学官連携担当
任期：令和7年4月1日～令和7年5月23日開催の評議員会終結の時

昭和医科大学副学長(再任)

田中 大介

現：昭和医科大学副学長 保健管理担当
任期：令和7年4月1日～令和7年5月23日開催の評議員会終結の時

昭和医科大学医学部薬理学講座責任者



内田 直樹

医学部薬理学講座
(臨床薬理学部門) 担当 教授
[勤務地：昭和医科大学附属鳥山病院臨床薬理学]
任期：令和7年4月1日～
令和10年3月31日

医学部内科学講座(臨床感染症学部門) 担当 教授
[勤務地：昭和医科大学病院感染症内科]



時松 一成

医学部内科学講座(臨床感染症学部門) 担当 教授(員外)
[勤務地：昭和医科大学病院感染症内科]
任命日：令和7年3月11日

歯学部歯科保存学講座(保存修復学部門) 担当 教授
昭和医科大学歯科病院保存修復科診療科長



小林 幹宏

歯学部歯科保存学講座
(保存修復学部門) 担当 准教授
任命日：令和7年4月1日

昭和医科大学鷺沼キャンパス準備室長



中村 明弘

現：薬学部長
任命日：令和7年4月1日

昭和医科大学横浜看護専門学校準備室長



下司 映一

IR室長
選任日：令和7年4月1日

昭和医科大学横浜市北部病院
救急センター長

[勤務地：昭和医科大学横浜市北部病院救急センター(ER)(救急診療科)]



加藤 晶人

医学部救急・災害医学講座担当
准教授
[勤務地：昭和医科大学横浜市北部病院救急センター(ER)(救急診療科)]
任命日：令和7年4月1日

昭和医科大学藤が丘病院
内科系診療センター(放射線科) 診療科長
[勤務地：昭和医科大学藤が丘病院内科系診療センター(放射線科)]



竹山 信之

医学部放射線医学講座(放射線科学部門) 担当 准教授
[勤務地：昭和医科大学横浜市北部病院内科系診療センター(放射線科)]
任命日：令和7年4月1日



昭和医科大学 eICU センター長(再任)

小谷 透

現：昭和大学 eICU センター長

任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日

特任教授 継続 令和7年4月1日～令和8年3月31日

宮崎 章 南洲 明宏 井上 晴洋 横 宏太郎 中村 清吾

平井 康昭 九島 秀樹 宮崎 隆 小口 江美子 三邊 武幸

工藤 進英 小出 良平 (12名)

※3月11日 理事会承認

理事会関係

◆歯学部講座および部門の英語名称変更の件

【変更内容】

①口腔解剖学講座

変更前：Department of Oral Anatomy and Developmental Biology

変更後：Department of Oral Anatomy

②歯科補綴学講座 歯科補綴学部門

変更前：Department of Prosthodontics

変更後：Department of Prosthodontics, Division of Prosthodontics

◆薬学部の部門新設・廃止および教育職員勤務地一覧変更の件

【変更内容】

①臨床薬学講座 医薬品適正使用学部門を廃止

②病院薬剤学講座に臨床教育部門、臨床研究部門を新設

【変更日】 令和7年4月1日

◆薬学部教育職員定員表変更の件

【変更内容】

①臨床薬学講座 医薬品適正使用学部門を廃止

②病院薬剤学講座の新部門設置に伴い、各部門の定員を設定および変更

【変更日】 令和7年4月1日

◆令和7年度法人委員会関連組織図変更の件

【変更内容】

①校名変更に伴い昭和大学の表記を昭和医科大学に変更する。

②横浜3病院あり方委員会を削除する。

③鷺沼キャンパス整備検討委員会の下に研究センター設置準備検討部会を追加する

【変更日】 令和7年4月1日

◆名誉教授称号授与

真鍋 厚史 特任教授

稲垣 克記 客員教授

医学部整形外科科学講座 担当

勤務地：昭和大学病院整形外科

菅原 スミ 客員教授

保健医療学部看護学科 担当

◆昭和医科大学ICTセンター設置の件

昭和医科大学ICTセンター規程および昭和医科大学ICTセンター運営委員会規則の制定、法人組織図の変更についても承認された。

【設置趣旨】 本学の職員・学生のICTリテラシーの向上、研究力向上および研究推進に寄与するため

【設置日】 令和7年4月1日

◆昭和医科大学臨床薬理研究所 創剤学部門設置の件

臨床薬理研究所および薬学部の定員変更、烏山病院組織図の変更についても承認された。

【設置趣旨】 患者中心型の医薬品開発を加速するため

【設置日】 令和7年4月1日

病院関係

◆昭和医科大学統括がん情報センター設置の件

昭和医科大学統括がん情報センターの設置について承認された。これに伴い、昭和医科大学統括がん情報センター規程および昭和医科大学統括がん情報センター運営委員会規則の制定、法人組織図の変更、各附属病院組織図（昭和医科大学病院、藤が丘病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院、歯科病院）についても変更する。

【設置趣旨】 AI（人工知能）技術を積極的に活用し、多岐にわたるがん診療情報の解析・予測・可視化を行うことにより、各附属病院（昭和医科大学病院、藤が丘病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院、歯科病院）におけるがん診療をより一層活性化させるため。

【設置時期】 令和7年4月1日

学務関係

◆保健医療学部リハビリテーション学科

および医療技術学科入学定員の件

保健医療学部リハビリテーション学科および医療技術学科の入学定員・収容定員を変更する。

【変更後】

保健医療学部リハビリテーション学科（入学定員75名 収容定員300名）

専攻	入学定員	収容定員
理学療法学専攻	30名	120名
作業療法学専攻	15名	60名
言語聴覚療法学専攻	15名	60名
視覚機能療法学専攻	15名	60名

医療技術学科（入学定員75名 収容定員300名）

専攻	入学定員	収容定員
診療放射線技術学専攻	30名	120名
臨床工学専攻	30名	120名
歯科衛生学専攻	15名	60名

【改組予定日】 令和9年4月1日

あなたには眠りやすい角度がある。
「入眠角度」という新提案。

ベッドが動けば、眠りは変わる。

Active Sleep BED

パラマウントベッド株式会社
東京支店 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号
www.paramount.co.jp
(03)3648-1171 (代)

— 生協は学園生活のパートナーです —



昭和大学生生活協同組合

旗の台：3788-2322(内線)8268 アミ：3785-9729(内線)8369
吉田：0555-23-8505 洗足：3787-4432 横浜：045-985-9624

◆保健医療学部における学生納付金変更の件

保健医療学部の学生納付金について令和8年度の入学者から減額する。併せて、リハビリテーション学科（理学療法学専攻、作業療法学専攻）における総合型選抜入試および学校推薦型選抜入試で合格した者に認めている特待制度については廃止する。また、令和9年度開設予定の新学科・新専攻の学生納付金についても同様の金額設定とする。

【変更前】 保健医療学部学生納付金一覧

	看護学科	リハビリテーション学科 (理学・作業療法学専攻)
入学金	300,000円	300,000円
授業料(初年次)	750,000円	750,000円
授業料 (2～4年次計)	3,150,000円 (1年間：1,050,000円)	3,150,000円 (1年間：1,050,000円)
教育充実費 (2～4年次計)	1,890,000円 (1年間：630,000円)	2,400,000円 (1年間：630,000円)
合 計	6,090,000円	6,600,000円

【変更後】 保健医療学部学生納付金一覧 令和8年度入学者から適用

	看護学科	リハビリテーション 学科 (理学・作業療法学専攻)	令和9年度 開設予定 新学科・新専攻※
入学金	300,000円	300,000円	300,000円
授業料(初年次)	300,000円	300,000円	300,000円
授業料 (2～4年次計)	3,150,000円 (1年間：1,050,000円)	2,100,000円 (1年間：700,000円)	2,100,000円 (1年間：700,000円)
教育充実費 (2～4年次計)	1,890,000円 (1年間：630,000円)	1,500,000円 (1年間：500,000円)	1,500,000円 (1年間：500,000円)
合 計	5,640,000円	4,200,000円	4,200,000円

※リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻、視覚機能療法学専攻
医療技術学科診療放射線技術学専攻、臨床工学専攻、歯科衛生学専攻

昭友商事株式会社

昭和大学の皆さまへ

便利なサービス・商品を提供します！

昭和大学富士吉田の天然水

イベント業務委託

昭和大学オリジナルワイン

ローソン&タリーズ

QUOカード・VJAギフトカードなど その他色々！

お気軽にお問い合わせください！ ☎ 3784-8280

i Information

詳細・更新情報は各部署へお問い合わせください。

上條記念ミュージアム

メディカルデザイン展 好評につき、開催期間延長！

第6回企画展「メディカルデザイン展 ―昭和医科大学メディカルデザイン研究所の試み―」が、昭和医科大学メディカルデザイン研究所（IMD：Institute of Medical Design）主催、上條記念ミュージアム共催で開催されています。IMD主催の「医療を支えるデザイン」をテーマとしたプログラムに参加した多摩美術大学プロダクトデザイン専攻の学生作品を中心に、今年度設立されたIMDの医療現場のQOL（Quality of Life）を高めるための試みを展示しています。

【開館】
火曜日・金曜日
13:00～15:00（予約制）

【開催期間】
2024年11月19日(火)～
2025年8月29日(金)



皆さまのご来館を心よりお待ちしております。

いつも探しています！大学や病院の歴史資料

皆さまのご自宅や勤務先に、昭和医科大学の歴史に関する資料はございませんか。

資料は「上條記念ミュージアム」にて大切に保管・展示をさせて頂きます。

これらの品々は「至誠一貫」の精神で歩んできた95余年に及ぶ昭和医科大学の歴史を後世に伝える貴重な資料となる可能性があります。皆さまからのご連絡をお待ちしております。

また、本年秋季に企画展「昭和医専から昭和医大へのステップと時代背景」（仮）を開催予定!! 昭和医科大学時代（昭和21～39年）にスポットをあて、設立経緯や校舎の移り変わりなどが紹介できるよう準備中です。当時の資料（卒業アルバム、ノート、写真など）をお持ちであれば併せてご一報くださいますようお願いいたします。

お問い合わせ 昭和医科大学上條記念ミュージアム

電話：03-3784-8031

メール：museum@ofc.showa-u.ac.jp



リカレントカレッジ事務室

昭和医科大学リカレントカレッジ 特別企画開催決定！

2025年度で昭和医科大学リカレントカレッジは開講5年目となります。昨年度は春期・秋期で全54講座が開講し、年間で270名の入学者を迎えることができ、累計の受講者数は861名に上ります。今年度も、医学分野にとどまらず、様々なテーマの講座を開講し、多くの受講生の学びに貢献してまいります。

さて、この度、2025年度昭和医科大学リカレントカレッジ特別企画（夏）として、医療と歴史について特別公開講座を開催する運びとなりました。第一部ではリカレントカレッジプリンシパル小川先生より、第二部では、国際日本文化研究センター教授の磯田道史様をお招きし、ご講演をいただきます。リカレントカレッジ受講生・本学教職員・本学学生は参加費無料となっておりますので、ぜひお誘い合わせの上ご参加ください。



（上）第一部／リカレントカレッジ 小川 良雄プリンシパル （下）第二部／国際日本文化研究センター 磯田 道史教授

【日時】2025年8月3日(日) 13:00～

【会場】昭和医科大学上條記念館 上條ホール

【料金】一般：2,000円（全席指定）

【チケット発売日】2025年6月3日(火)

窓口 9:00～（きゅりあん、スクエア荏原、メイプルカルチャーセンター、O美術館）

電話 10:00～ 03-5479-4140

…チケットセンターCURIA ※電話予約は座席選択不可

Web 9:00～https://www.shinagawa-culture.or.jp/

…「しながわぶんか」で検索

なお、チケット販売の詳細についてはリカレントカレッジホームページをご確認下さい。

※リカレントカレッジ受講生・本学教職員・本学学生のお申込み方法については、学内情報共有基盤・配信メール等でお知らせします。

お問い合わせ 昭和医科大学リカレントカレッジ事務室

電話：03-3784-8143

メール：recurrent@ofc.showa-u.ac.jp



統括研究推進センター事務室研究推進課

【SURAC】2024年度昭和医科大学研究所 報告会 動画配信開始のお知らせ

統括研究推進センター（SURAC）から、「2024年度昭和医科大学研究所・共同施設報告会」の動画配信開始のお知らせです。

昭和医科大学では「11の研究所」と「4の共同施設」が設立されており、各研究所・共同施設の取り組みを広く知っていただくために、昨年度に引き続き、2月1日(土)に昭和大学研究所・共同施設報告会を開催いたしました。

研究所と連携した共同研究や共同施設の利用などにご興味があり、報告会の動画視聴をご希望の方は、こちらのフォームよりお申込ください。

当日ご参加いただいた方もお申込み可能です。

https://forms.gle/JC838n5xyT64WbjUA

※Googleフォームにご入力いただくと、動画のリンクがメール送付されます。



なお、研究所・共同施設へのご質問等は直接お問い合わせいただくか、連絡先が不明な場合は下記の問い合わせ先までご連絡ください。

【SURAC】基礎研究に関する相談窓口の 設置について

統括研究推進センター（SURAC）から研究相談に関する情報のお知らせです。

SURACでは、これまで基礎研究領域に関して各種サポートを行ってきました。この度、さらに多くの基礎研究に関するニーズに応えるため、【基礎研究に関する相談窓口】を設置しました。

学内研究機器の問い合わせ、臨床検体の応用、遺伝子組換え動物や動物実験に関する内容、共同研究先や研究受託先の斡旋など、あらゆるサポートに対応します。

ご相談のある方は下記アドレスまで、お気軽にメールください。

●相談窓口メールアドレス：surac1@ofc.showa-u.ac.jp

タイトルに【基礎研究相談：〇〇〇〇〇〇について（表題に相談内容を簡単に記載していただけると幸いです。例）学内の機器について】とご記載ください。

相談内容は「学内での共同研究先を探している」「〇〇の血中濃度の測定をして欲しい」「臨床検体の測定をして欲しい」のようなざっくりしたものでも構いません。

皆さんのご相談をお待ちしております。

お問い合わせ 統括研究推進センター事務室研究推進課

電話：03-3784-8863

メール：surac1@ofc.showa-u.ac.jp



昭和医科大学学生会

学会誌の誌名を変更、発刊しました！

学生会発行の和文誌・英文誌の誌名を変更しました。

2025年4月1日の校名変更より先駆けて、2025年の1号から新誌名にて発刊しました。「巻」は従来からの継続となります。和文誌は第85巻1号（2025年2月号）から、英文誌はVol.37-No.1（2025年3月号）から、新誌名となりました。

	旧誌名	新誌名
和文誌	昭和学生会雑誌	昭和医科大学雑誌
英文誌	THE SHOWA UNIVERSITY JOURNAL OF MEDICAL SCIENCES	The Showa Medical University Journal
発刊元	昭和大学学生会	昭和医科大学学生会

当学会誌はJ-STAGEにて電子ジャーナルとして公開をしております。ご興味がありましたら、ぜひJ-STAGEのサイトにアクセスしてください。昭和医科大学雑誌、The Showa Medical University Journalのトップにアクセスしていただきましたら、前身誌のリンクがありますので、過去から現在までの論文が無料で閲覧できます。（創刊は、和文誌・1巻1号は1939年／昭和14年に、英文誌Vol.1 No.1-2は1989年／平成元年に発刊しています。）

また、和文誌別冊号は例年と変わらず年1回・冊子体で発行します。秋には学生会会員様にお届けいたします。

ご投稿をお考えの場合は、学生会WEBサイト〈学会誌〉コンテンツをご覧ください。



お問い合わせ 昭和医科大学学生会

電話：03-3784-8074

メール：j-gakushikai@ofc.showa-u.ac.jp

（雑誌専用アドレス）



薬学部

薬学部60周年記念誌発刊と デジタル版掲載のお知らせ

本学薬学部は、2024年をもちまして創設60周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援とご厚情の賜物であり、心より感謝申し上げます。

この記念すべき節目にあたり、薬学部60周年記念誌を発刊するとともに、デジタル版を大学ホームページに掲載いたしました。

本誌は、50周年からの10年間を振り返り、薬学部教育・研究の変遷と業績をまとめました。薬学部の歴史と発展、そして卒業生の活躍を振り返る貴重な資料となっております。皆様にとりましても、懐かしい思い出や新たな発見が詰まった一冊となることと思います。

記念誌（印刷版）をご希望の方には、お配りいたしますので、下記の連絡先までご連絡ください。なお、数に限りがございますため、先着順とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

記念誌（デジタル版）は、以下の薬学部創設60周年記念事業ホームページよりご覧いただけます。

薬学部創設60周年記念事業



今後とも薬学部へのご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

お問い合わせ 昭和大学薬学部創設60周年記念誌 担当委員

野部 浩司、芦野 隆、島本 一志、

谷岡 利裕、森 一憲、依田 恵美子

メール：yakugaku60@pharm.showa-u.ac.jp



オープンキャンパス

昭和医科大学 令和7年度 オープンキャンパス情報

医学部 対面開催 7月13日(日)

動画配信 8月1日(金)

歯学部 動画配信 6月24日(火)

対面開催 7月12日(土)

薬学部 対面開催 8月10日(日)、3月21日(土)

保健医療学部

対面開催 6月22日(日)、8月2日(土)、8月3日(日)、
10月26日(日)

3月28日(土) リハビリテーション学科のみ

8月中 病院オープンキャンパス

オンライン 7月12日(土)

4学部合同入試説明会 10月11日(土)

※原則予約が必要となりますので、詳細は受験生サイトをご確認ください。



総務部

昭和医科大学サポート寄付制度に ご協力いただいた方

【創立100周年に向けてへの寄付】

同窓／眞田 妙子 様（医学部 41回生）

職員（50音順）／高見 正道 様、二木 芳人 様、深貝 隆志 様

一般／赤羽歯科 様、株式会社アスター 様、株式会社MMコーポレーション 様、株式会社コスモス 様、株式会社商起産業 様、株式会社テクノメディカ 様、株式会社東基 様、株式会社日経サービス 様、株式会社水谷 様、小柴ビルサービス商会 様、サンメディックス株式会社 様、信濃化学工業株式会社 代表取締役 小野大輔 様、昭和サービス株式会社 様、大和証券株式会社 中野支店 様、肉のいごらし 様、富士テレコム株式会社 様、富士燃料株式会社 様、三菱電機ビルソリューションズ株式会社 様、有限会社鮎川ボイラー商会 様、ワタル商店 様

【各クラブ・学生会への寄付】

一般／医療法人社団ユニメディコ 理事長 立野 慶 様、高野 博靖 様

【校舎建設・運営維持への寄付】

同窓／西岡 貴弘 様（医学部 69回生）

※収納期間：2025年2月1日～3月31日

※本学広報媒体への掲載に同意していただいた方のみといたします

今号の表紙写真

表紙写真は、富士吉田キャンパスの顔のひとつである「富士吉田スクエアガーデン」前での一枚です。壁面サインも「昭和医科大学」となり、新たな歴史を刻み始めました。4月10日に行われた入寮式では新生活への期待と不安を抱いた新入生の初々しい姿が見られました。一年間の学修や課外活動、日々の寮生活が実り多きものとなることを祈っております。



SHOWA MEDICAL UNIVERSITY NEWS

昭和医科大学新聞 通巻第625号

June 2025 令和7年6月1日発行

vol. 16

[年6回発行]



学校法人 昭和医科大学

(03) 3784-8000

〒142-8555

東京都品川区旗の台1-5-8

【本誌について】

発行人 小口 勝司

編集 総務課 大学広報係

(03) 3784-8059

press@ofc.showa-u.ac.jp

ご意見やご感想、各種情報をお待ちしています。

制作・印刷 株式会社ダイヤモンド・グラフィック社

【配送停止住所変更】

ご登録は、
こちらにお願い
いたします。

【各種募金・寄付について】

企画課 (03) 3784-8387

【学事について】

学務課 (03) 3784-8022 (旗の台)

(0555) 22-4403 (富士吉田)

(045) 985-6503 (横浜)

大学院課 (03) 3784-8793

入学支援課 (03) 3784-8026

！個人情報の取扱いにご注意ください

昭和医科大学新聞には、学生・職員および学外関係者の氏名や所属等を掲載している場合があります。掲載に際しては、学校法人昭和医科大学が個人情報を広報活動に利用することについて説明し、同意していただいております。原則として、その他の目的に個人情報を利用することはできませんので、取扱いにはご注意ください。